

# 官報

號外

明治三十年二月十九日

金曜日 內閣官報局

## 第十回衆議院議事速記録第十二號

明治三十年二月十八日(木曜日)午後一時二十二分開議

議事日程 第十二號 明治三十年二月十八日

午後一時開議

- 第一 豫算案
- 第二 明治二十九年法律第九十二號中改  
正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)
- 第三 鹿兒島縣管下大隅國大島郡及薩摩國川邊郡各島地租徵收期限法律案 第一讀會ノ續(特別委員)
- 第四 明治二十八年年度豫備金支出ノ件(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)
- 第五 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉  
明治二十八年年度ニ於テ國庫剩餘金ヲ以テ豫算超過及豫算外支出ノ件(政府提出)
- 第六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉  
明治二十八年年度特別會計豫備金支出ノ件(政府提出)
- 第七 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉  
明治二十八年年度特別會計入及資金ヲ以テ豫算超過及豫算外支出ノ件(政府提出)
- 第八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉  
豫種検査法案(政府提出)
- 第九 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉  
國有土地森林原野下辰法案(政府提出)
- 第十 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉  
豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案(政府提出)
- 第十一 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉  
豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案(政府提出)
- 第十二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉  
豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案(政府提出)
- 第十三 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉  
豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案(政府提出)
- 第十四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉  
豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案(政府提出)
- 第十五 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉  
豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案(政府提出)
- 第十六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉  
豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案(政府提出)
- 第十七 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉  
豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案(政府提出)
- 第十八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉  
豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案(政府提出)
- 第十九 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉  
豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案(政府提出)

○議長(鳩山和夫君) 是ヨリ報告ヲ爲シマス

(田中書記官朗讀)

政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ  
作業會計法中改正法律案

衆議院議事速記録第十二號

明治三十年二月十八日

議長ノ報告

豫算案

歳出臨時部大藏省所管

一一九

狩獵免許稅徵收ニ關スル法律案  
明治二十九年歳入歳出總豫算追加案(總追第六號)  
罹災救助基金法案

政府ヨリ明治二十八年四月一日ヨリ同二十九年三月三十一日ニ至ル各省所管官有財産増減異動ニ關スル報告書ヲ送付セラレタリ  
貴族院ニ於テ明治二十九年歳入歳出總豫算追加案(總追第四號)ヲ可決シタル旨同院ヨリ通牒アリ  
議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ  
國學院補助ニ關スル建議案  
提出者 秋山 忠 夫君 石塚 重 平君  
小鷹 狩 元 凱君 江 橋 厚君

會計法中改正法律案

提出者 元 田 肇君

福田久松君ヨリ鐵道改築ニ關スル件ニ付政府ニ質問書ヲ提出セラレタリ  
(左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

鐵道改築ニ關スル質問書

一 第九議會中建議シタル鐵道改築案ノ採否如何  
一 鐵道改築ノ事ハ先ニ其筋ニ於テ委員ヲ設ケ既ニ其調査ヲ完了セシノミナラス精細三等區別シタルノ調査ヲナセシト聞ク其結果精細ヲ問フ  
一本議會ニ提出セラレタル豫算案甲乙兩號ヲ參照シ視ルニ政府ハ前政府カ計畫セラレタル海軍擴張期限ヲ短縮シ之ヲ陸軍ノ擴張ト共ニ明治三十六年度ニ於テ完了シ全ク同年度ニ於テ軍備ノ擴張ヲ完結セント期スルカ如シ然トモ本員等ヲ以テ之ヲ視レハ尙鐵道ニシテ改築セサレハ其全キヲ得サルカ如シ政府ハ我カ軍備擴張後ニ於テ現在ノ鐵道ヲ以テ能ク之ニ伴フノ働ヲナサシム得ルモノト思惟スルヤ  
又之ヲ以テ我國將來ノ進運ニ伴フノ働ヲナサシム得ルモノト思惟スルヤ  
右成規ニ據リ提出候也  
明治三十年二月十八日

提出者 福田 久松  
賛成者 堤 猷 久

外二十八名

○議長(鳩山和夫君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、昨日延會ニナリマシタ其引續議案、即チ大藏省所管第一款第一項ヨリ第八款第一項マデ通シテ議題ト爲シマス

第一 豫算案

○田中鳥雄君(二百九番) 政府委員ハ質問致シタイ事ガアリマス

○堀内賢郎君(七十五番) 議長……

○議長(鳩山和夫君) 田中鳥雄君ガ質問ナサルサウデス

○堀内賢郎君(七十五番) ソレデハ後トテ願ヒタイ  
○田中鳥雄君(二百九番) 政府委員へ御問申シマス項ハ第三款第二項新營費——其中ニ關係シマシタコトニ就イテ御質問シタイト考ヘマス、此神戶稅關ハ如何ニモ狹隘ニ就イテ、總テ此營舍新築土地買入等ヲ致スト云フコトデアリマス、ソレニ就キマシテ該地ニ就イテ實況ヲ調査シテ見マス、成ル程稅關ノ狹隘ナルコトハ實ニ非常デゴザリマス、其場所ニ官有地ガアツテ、是ヲ棧橋會社ナルモノニ貸附ケテアルト云フコトヲ承知致シマシタ、其貸附ナルモノハ明治二十五年ヨリシテ二十箇年ノ年期ヲ以テ貸附ケテアルト、斯ウ云フコトヲ承知シマシタ、大凡官ノ所有物ヲ人民或ハ會社等ニ貸附ケルニハ、必シモ官ニ入用ノアル時ニハ返却サセルト云フ條項ガアルモノト信ジテ居リマス、果シテ此三十箇年貸附ケタモノトシマシテモ、神戶稅關ガ或ハ狹隘ヲ感ジテ、官ノ入用ガアル時ニハ、其官有地ガ其接續シタ地ニアツタラバ、其貸附ナルモノヲ返却サセテ官用ニ致シテ宜シキモノト考ヘマス、如何ナル理由ヲ以テ之ヲ返却ノ手續ヲナサレマセヌカ、其邊ノコトヲ明瞭ニ一ツ御答ヲ願ヒマス

○議長(鳩山和夫君) 政府委員目賀田種太郎君  
(政府委員大藏省主稅局長目賀田種太郎君演壇ニ登ル)  
○政府委員(目賀田種太郎君) 唯今ノ御質問デゴザリマス、右ハ其年限ヲ定メテ貸シテアリマス、即チ神戶稅關ノ用地ヲ棧橋會社ニ三十年間ト云フコトヲ貸シテアル、年限ガ切レ次第、其時ニ取戻スト云フコトニナツテ居リマス

○田中鳥雄君(二百九番) 尙ホ要領ヲ得マセヌデモウ一應……年限ヲ定メテ貸附ニナツテ居リマスコトハ論ヲ俟チマセヌガ、イヅレノ場所デモ、官地ヲ人民ニ貸附ケルニハ年限ヲ定メルニ相違アリマセヌ、其借地ノ證書ノ中ニハ、官ノ入用ノ時ニハ何時デモ返却サセルト云フ條項ガ必シモイヅレノ借用物ニ對シテモアルト考ヘマス、是ニモ其條項ガアルダラウト考ヘマスガ、ソレハドウ云フ譯デ……

○政府委員(目賀田種太郎君) タシカアルト思ッテ居リマス、唯今茲ニハ持ッテ居リマセヌガ、タシカアルト思ッテ居リマス  
○田中鳥雄君(二百九番) アツタラバ其條項ニ依ッテ神戶稅關ノ如キハ公衆ノタメニドウシテモアレガ狹隘デハナラヌト云フ場合ニナツテ、他ノ新ナル土地ヲ、金員ヲ掛ケテ捲ヘンケレバ置ケヌト云フ場合ニ、返却サセテ宜シカラウト思ヒマス

○政府委員(目賀田種太郎君) サウ考ヘマス、併ナガラ今ハ棧橋會社ニ貸シテ居リマス、名ハ棧橋會社ノ借地——無論棧橋會社業務ヲ營ンデ居リマスガ、矢張稅關ノ貨物ヲ預カル處デアツテ、稅關所ノタメニ稅關ニ對シテハ大ニ間接ナル利益ヲ與ヘテ居リマス、是モ其時ニ臨ンデ右ノ貸シテアル地面ヲモ圍ヒ込メ、コトヲ用途ニ供スル場合ニハ、無論御尋ノ通デアリマスガ、今日ニ於テハ其接續地形ニ於キマシテ、寧ロ今暫ク今日ノ儘ニ置ク方ガ、却テ稅關ノタメニ便利ヲ得マス、又今日ノ一般ノ土地ニ要スル程度ト云フモノハ、棧橋會社ニ貸シテ居ル位ノ處デハ、所詮間ニ合ハヌノデゴザイマス

○田中鳥雄君(二百九番) 御答ノ所ハ甚ダ……私ノ思フニハ政府ノ御詮議ハ十分トハ考ヘマセヌ、併ナガラソレハ議論ニナリマスカラ止メマス  
○議長(鳩山和夫君) 堀内賢郎君  
(堀内賢郎君演壇ニ登ル)

○堀内賢郎君(七十五番) 唯今議長ヨリ宣告セラレマシタ所ノ大藏省臨時部ノコトニ就イテ意見ヲ述ベヤウト考ヘル、大藏省所管ノ第三款第二項ニ當ル新營費ノ項ガ、二十七萬八千八百六十七圓五十二錢五厘トアリマス、是ヲ十一萬六千四百三十三圓六十錢三厘ト修正スルト云フ動議ヲ提出シマス、ソレデ其理由ヲ聊述ベヤウト考ヘマスガ、此削減ヲシマスル金額ハ、此削減スル金額ハ、如何ナルモノニ用ヒルト云フ理由ヨリ述ベマスガ、此削減スル金額ハ、二十六萬七千七百二十三圓九十一錢九厘、神戶稅關用地購買費ト云フノデアリマス、此項ヲ斯ノ如ク修正スルト云フノハ、政府ガ要求書ニ據リマス、恰モ十二目ニ當ル所ノ費目ニ當ッテ居リマス、之ヲ削減シヤウト云フノデアリマス、此事ニ就イテハ、委員會若クハ分科會ニ於テ、當局者ノ意見モ十分聽キ、吾々ノ意見モ述ベマシタケレドモ、如何セン豫算委員會ニ於テモ、吾々ノ意見ハ貫徹ヲセズシテ否決セラレマシタカラ、本會ニ於テモ或ハ吾々ノ意見ガ通ラナイカモ知レマセヌケレドモ、吾々ノ意見ハ已ムベクシテ已ムベカラザル所ノ事情ガアリマス、一應本會ニ是ヲ諮ッテ諸君ノ御考慮ヲ請フ譯デアリマス、此神戶稅關ノ貿易事業ガ日ニ發達シテ、而シテ現在ノ稅關若クハ稅關用地ニ於テハ不足ヲ告グルト云フ所ノ政府委員ノ答辯デアリマシタ、ソレデ今般政府ガ要求ヲシマスル所ノ、二十六萬餘圓ノ金ヲ以テ、一万二千坪ノ稅關敷地用地ヲ購買シテ、是ニ稅關用ノ建物ヲ建築スルト云フ所ノ設備ヲスルト云フ、政府委員ノ答辯デアリ、併ナガラ此政府ガ要求シマスル所ノ神戶稅關用地、購買ヲスル此敷地ハ、當時如何ナル有様デアリカ、此事柄ニ就イテドウ云フ事柄ニナツテ居ルカト云フコトニ就イテ、色々事情ガ込入ツテ居リマス、先ヅ其內譯ノ話ヲシテ見マス、一万二千坪ノ内六千四百七十坪ト云フモノハ、現在海面ニナツテ居リマス、三千二百坪ハ川敷若クハ堤塘敷地等ニナツテ居リマス、二千四百坪餘ガ民有地ノ分ニナツテ居リマス、ソレデ吾々ノ考ニ於テハ、此項ヲ削除スルト云フコトハ、神戶稅關敷地用地ヲ否トスルデナイ、此神戶稅關用地ガ果シテ不足ナラバ、固ヨリ國家ノ職分トシテ購買ヲシテ、稅關用地ヲ備ヘルト云フコトハ至當デアリマス、ケレドモ、如何セン、本年政府ガ要求シマスル所ノ要求ノ理由ニ就イテ協贊スルコトノ出來ナイト云フ理由ガアリマス、ナゼナレバ今般政府ガ購買シヤウト云フ地ハ、如何ナル地デアるかト云フニ、諸君モ知ラル、通リ、港川ヲ改修シテ海面ヲ埋立テヤウト云フ所ノ株式會社ガ起ッテ居ルコトハ、諸君モ御存ジデアリマセウガ、此會社ガ果シテ埋立ツルヤ否ヤ、設立ガ出來ルヤ否ヤト云フコトモ、未ダ確定モシナイト云フコトハ、政府委員モ答辯シテ居ル、果シテソレガ出來タラバ、政府モ購買シヤウト云フテ居ルケレドモ、未ダ地面ヲ何人ガ埋立テルカ、會社ガ成立ツカ確定シテ居ナイ、要スルニ現在政府ガ購買シヤウト云フ土地ハ、海面茫茫タル處デアリ、之ヲ協贊スルコトハ、殆ド海面ヲ買上ゲルト同一ノ結果ニナルト思ヒマス、若シ政府ガ果シテ必要ガアル時分ニ之ヲ買上ゲヤウト云フ所ノ必要ガアツタラバ、政府自

○田中鳥雄君(二百九番) 尙ホ要領ヲ得マセヌデモウ一應……年限ヲ定メテ貸附ニナツテ居リマスコトハ論ヲ俟チマセヌガ、イヅレノ場所デモ、官地ヲ人民ニ貸附ケルニハ年限ヲ定メルニ相違アリマセヌ、其借地ノ證書ノ中ニハ、官ノ入用ノ時ニハ何時デモ返却サセルト云フ條項ガ必シモイヅレノ借用物ニ對シテモアルト考ヘマス、是ニモ其條項ガアルダラウト考ヘマスガ、ソレハドウ云フ譯デ……

○政府委員(目賀田種太郎君) タシカアルト思ッテ居リマス、唯今茲ニハ持ッテ居リマセヌガ、タシカアルト思ッテ居リマス  
○田中鳥雄君(二百九番) アツタラバ其條項ニ依ッテ神戶稅關ノ如キハ公衆ノタメニドウシテモアレガ狹隘デハナラヌト云フ場合ニナツテ、他ノ新ナル土地ヲ、金員ヲ掛ケテ捲ヘンケレバ置ケヌト云フ場合ニ、返却サセテ宜シカラウト思ヒマス

○政府委員(目賀田種太郎君) サウ考ヘマス、併ナガラ今ハ棧橋會社ニ貸シテ居リマス、名ハ棧橋會社ノ借地——無論棧橋會社業務ヲ營ンデ居リマスガ、矢張稅關ノ貨物ヲ預カル處デアツテ、稅關所ノタメニ稅關ニ對シテハ大ニ間接ナル利益ヲ與ヘテ居リマス、是モ其時ニ臨ンデ右ノ貸シテアル地面ヲモ圍ヒ込メ、コトヲ用途ニ供スル場合ニハ、無論御尋ノ通デアリマスガ、今日ニ於テハ其接續地形ニ於キマシテ、寧ロ今暫ク今日ノ儘ニ置ク方ガ、却テ稅關ノタメニ便利ヲ得マス、又今日ノ一般ノ土地ニ要スル程度ト云フモノハ、棧橋會社ニ貸シテ居ル位ノ處デハ、所詮間ニ合ハヌノデゴザイマス

○田中鳥雄君(二百九番) 御答ノ所ハ甚ダ……私ノ思フニハ政府ノ御詮議ハ十分トハ考ヘマセヌ、併ナガラソレハ議論ニナリマスカラ止メマス  
○議長(鳩山和夫君) 堀内賢郎君  
(堀内賢郎君演壇ニ登ル)

○堀内賢郎君(七十五番) 唯今議長ヨリ宣告セラレマシタ所ノ大藏省臨時部ノコトニ就イテ意見ヲ述ベヤウト考ヘル、大藏省所管ノ第三款第二項ニ當ル新營費ノ項ガ、二十七萬八千八百六十七圓五十二錢五厘トアリマス、是ヲ十一萬六千四百三十三圓六十錢三厘ト修正スルト云フ動議ヲ提出シマス、ソレデ其理由ヲ聊述ベヤウト考ヘマスガ、此削減ヲシマスル金額ハ、此削減スル金額ハ、如何ナルモノニ用ヒルト云フ理由ヨリ述ベマスガ、此削減スル金額ハ、二十六萬七千七百二十三圓九十一錢九厘、神戶稅關用地購買費ト云フノデアリマス、此項ヲ斯ノ如ク修正スルト云フノハ、政府ガ要求書ニ據リマス、恰モ十二目ニ當ル所ノ費目ニ當ッテ居リマス、之ヲ削減シヤウト云フノデアリマス、此事ニ就イテハ、委員會若クハ分科會ニ於テ、當局者ノ意見モ十分聽キ、吾々ノ意見モ述ベマシタケレドモ、如何セン豫算委員會ニ於テモ、吾々ノ意見ハ貫徹ヲセズシテ否決セラレマシタカラ、本會ニ於テモ或ハ吾々ノ意見ガ通ラナイカモ知レマセヌケレドモ、吾々ノ意見ハ已ムベクシテ已ムベカラザル所ノ事情ガアリマス、一應本會ニ是ヲ諮ッテ諸君ノ御考慮ヲ請フ譯デアリマス、此神戶稅關ノ貿易事業ガ日ニ發達シテ、而シテ現在ノ稅關若クハ稅關用地ニ於テハ不足ヲ告グルト云フ所ノ政府委員ノ答辯デアリマシタ、ソレデ今般政府ガ要求ヲシマスル所ノ、二十六萬餘圓ノ金ヲ以テ、一万二千坪ノ稅關敷地用地ヲ購買シテ、是ニ稅關用ノ建物ヲ建築スルト云フ所ノ設備ヲスルト云フ、政府委員ノ答辯デアリ、併ナガラ此政府ガ要求シマスル所ノ神戶稅關用地、購買ヲスル此敷地ハ、當時如何ナル有様デアリカ、此事柄ニ就イテドウ云フ事柄ニナツテ居ルカト云フコトニ就イテ、色々事情ガ込入ツテ居リマス、先ヅ其內譯ノ話ヲシテ見マス、一万二千坪ノ内六千四百七十坪ト云フモノハ、現在海面ニナツテ居リマス、三千二百坪ハ川敷若クハ堤塘敷地等ニナツテ居リマス、二千四百坪餘ガ民有地ノ分ニナツテ居リマス、ソレデ吾々ノ考ニ於テハ、此項ヲ削除スルト云フコトハ、神戶稅關敷地用地ヲ否トスルデナイ、此神戶稅關用地ガ果シテ不足ナラバ、固ヨリ國家ノ職分トシテ購買ヲシテ、稅關用地ヲ備ヘルト云フコトハ至當デアリマス、ケレドモ、如何セン、本年政府ガ要求シマスル所ノ要求ノ理由ニ就イテ協贊スルコトノ出來ナイト云フ理由ガアリマス、ナゼナレバ今般政府ガ購買シヤウト云フ地ハ、如何ナル地デアるかト云フニ、諸君モ知ラル、通リ、港川ヲ改修シテ海面ヲ埋立テヤウト云フ所ノ株式會社ガ起ッテ居ルコトハ、諸君モ御存ジデアリマセウガ、此會社ガ果シテ埋立ツルヤ否ヤ、設立ガ出來ルヤ否ヤト云フコトモ、未ダ確定モシナイト云フコトハ、政府委員モ答辯シテ居ル、果シテソレガ出來タラバ、政府モ購買シヤウト云フテ居ルケレドモ、未ダ地面ヲ何人ガ埋立テルカ、會社ガ成立ツカ確定シテ居ナイ、要スルニ現在政府ガ購買シヤウト云フ土地ハ、海面茫茫タル處デアリ、之ヲ協贊スルコトハ、殆ド海面ヲ買上ゲルト同一ノ結果ニナルト思ヒマス、若シ政府ガ果シテ必要ガアル時分ニ之ヲ買上ゲヤウト云フ所ノ必要ガアツタラバ、政府自

カフ此事業ヲ爲シテ宜シイ、然ルニ會社ガ設立セラレテ埋立テスルノヲ待ツテ、然ル後之ヲ購買シヤウト云フノハ、頗ル政府ハ其當ヲ得ナイモノデアアル、故ニ今日ノ所ニ於テ、政府ノ未ダ購買シヤウト云フ所ノ海面ヲ買上テヤウト云フコトハ、如何ニ政府ガ答辯ヲシテモ、協賛ハ出來マセヌカラ、已ムヲ得ズ本年ニ於テハ此項中ヨリ前段ニ述ブル所ノ金額ヲ削除スルコト云フ所ノ意見ヲ一應簡單ニ述ベテ置キマス、此コトニ就イテハ事情ガ随分込入ッテ居リマシテ、餘リ長クナリマス、最早議場ノ大勢ニ於テ、吾々ノ意見ハ或ハ用ヒラレヌト云フ事情モアリマスカラ、簡略ニ一應自分ノ意見ヲ述ベテ置キマス

○小坂善之助君(五十四番) 一寸政府委員ニ質問シマスガ、勸業銀行設立ノ準備ハ唯今ドレ程ニ運ンデ居リマスルカ、其コトヲ一應伺ヒタイ、ソレカラ農工銀行設立ノ時期ト云フモノハ、凡ソ何時頃設立セラル、運ニナッテ居リマスルカ、ソレモ一應答辯ヲ煩ハシタイ

(政府委員大藏次官法學博士男爵田尻稻次郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(男爵田尻稻次郎君) 唯今小坂君ノ御問デアリ、マシタガ、勸業銀行ノ委員會ハ著々運ンデ居マシテ、既ニ定款ノ過半ハモウ確定シタコトニナッテ居リマス、モウ一回モ開キマシテ、即チ明日ノ晚開キマス、サウシマシタナラバ、定款ダケハツレデ済ムダラウト思ヒマス、併ナガラツレカラ先キニ色々ノ仕事ガアリマスカラ、會社ノ組織等ノコトハ、小坂君ハクロウトデアリマスカラ御承知デアリマスガ、色々ツレカラ手續ガアリマスカラ、是カラセツセトヤツタ所ガ、二箇月ハ掛ルデアラウ、株主募集ニハ幾ラ掛ル、何ニ幾ラ掛ルト云フコトハ、私ヨリ却テ小坂君ガクロウトノ方デアアルカラ、申上ゲルニハ及ビマス、ソレカラ農工銀行ノ方ハ各府縣ニ於キマシテ、中央機關ガ如何ニ成立ッデアラウカト云フコトヲ、唯今デハ待ッテ居リマス、マダ各府縣ニ於テ委員ヲ組織シタト云フ所ハ一モナイ、併ナガラ中央機關ガ出來上リマシタナラバ、必ズ續々著手スルデアラウト思ウテ居ル、實ハ腕ニ力ヲ入レテ待ッテ居リマス景況ガ見エマスカラ、必ズ中央機關ガ立ッテナラバ續々立ツコト、思ヒマス

○小坂善之助君(五十四番) 尙ホ御問致シマス、此農工銀行ノ設立ニ就イテハ、大藏大臣ガ府縣ノ知事ニ、委員ノ選舉等ハ見合セロト云フヤウナ内達デモアリマスヤウニ聞イテ居リマスルガ、ソレハ果シテサウ云フ手續ニナッテ居リマスルカ、若シサウ云フコトデアリマスレバ、勸業銀行ノ設立ノ後ニ、農工銀行ノ方ハ著手スルコトニナッテ居リマシテ、ソレマデ府縣ノ知事ニ先ヅ著手ヲ見合セロト云フコトニナッテ居リマスカ

○政府委員(男爵田尻稻次郎君) 内達ト云フ程ノコトデアアリマセヌガ、マダ前ノ大藏大臣ノ渡邊大藏大臣ノ時代ニ、御承知ノ通アノ頃何月デアツタカ忘レマシタガ、各府縣知事ガ内務省ニ集ツタコトガアリマス、其時ニ大藏大臣ガ出席セラレマシテ、先ヅ中央機關ト云フモノガ出來テカラヤツタ方ガ宜シイシヤナイカト云フ相談位ノコトニナッテ居リマスノデゴザイマス、ソレカラツレハ如何ニモサウデアリマセウト云ウテ、知事モ中央ノ出來ルノヲ待ツテ致ス方ガ宜カラウト云フコトニナッテ、ソレ或ノコトデ、外ニ書面ヲ以テ内達シテ見合セロト云フコトハナイノデゴザイマス

○小坂善之助君(五十四番) モウ一ツ問ヒマス、日本鐵道ノ補助金ノ支給方

法ガ改正ニナルト云フコトハ能ク新聞紙上ニ散見致シマスガ、唯今日本銀行ト政府トノ——日本鐵道會社ト政府トノ間ニ何かサウ云フコトノ御交渉ニデモナッテ居リマスカ、若シ御交渉ニナッテ居レバドウ云フ方法ニ御交渉ニナッテ居リマスカ、其事ヲ伺ヒタイ

○政府委員(男爵田尻稻次郎君) 色々是モ會社ト相談ヲ致シマシテ、何トカ此補給ノ金ヲ減ズルコトニ致シマセウトコチカラモ注文致シマスシ、向フカラモ申出デマシテ、餘程交渉ノ度ガ進ンデ確定スル程ニ至ッテ居リマス、會社ノ方カラ餘程讓歩シマシテ唯今申出デントスル所デアリマスガ、併ナガラ是ミデト云フコトハ少シ公言ガ出來ヌ場合デアリマスカラ、何レモ程ナク其話ハ纏ルト云フ位ニ運ンデ居リマスカラ、ドウゾ其邊デ御了承ヲ願ヒマス

(贊成々々ト呼フ者アリ)

○議長(鳩山和夫君) 堀内賢郎君ノ修正ニ贊成ガアリマスカ

○議長(鳩山和夫君) 成規ノ贊成ガアルト認メマスカラ議題ト爲シマス——採決シマス、第一款、第二款、是ニハ修正ノ意見モアリマセヌガ原案ニ決定シタモノト認メテ宜シウゴザイマスカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(鳩山和夫君) 原案ノ通ニ確定致シマス、第三款ノ第一項ハ原案ニ修正ガアリマセヌガ、原案ノ通り決定シタモノト見テ宜シウゴザイマスカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(鳩山和夫君) 原案ニ可決致シマシタ、第二項ニハ堀内賢郎君ノ修正ガアリマス、修正案ニ同意ノ諸君ハ起立ヲ求メマス

起立者 少數

○議長(鳩山和夫君) 少數ト認メマス、修正ハ否決シマシタガ、原案ニ決定シタモノト見テ宜シウゴザイマスカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(鳩山和夫君) 又ハ「異議アリ」ト呼フ者アリ

○議長(鳩山和夫君) 原案ニ決定致シマシタ、ソレカラ第四款以下第八款第一項ニ至ルマデハ修正モ何モアリマセヌガ、原案ニ決定シタモノト見テ宜シウゴザイマスカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(鳩山和夫君) 原案ノ通決定致シマシタ、次ハ大藏省所管ノ合計デゴザイマス、合計モ別ニ變動ガナイノデゴザイマスカラ、原案ノ通決定シタモノト御承認ヲ願ヒマス、陸軍省所管第一款第一項ヨリ第十款第一項マデ全部通シテ議題ト爲シマス——御異議ガナケレバ全部可決シタモノト認メマス

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(鳩山和夫君) 全部可決致シマシタ、總計モ自然變動ガアリマセヌカ矢張り可決シタモノト認メマス、海軍省ノ所管第一款第一項ヨリ第六款第一項マデヲ議題ト爲シマス——是モ御異議ガナケレバ原案ニ決定シタモノト認メマス

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(鳩山和夫君) 原案ニ決定致シマシタ、第七款第一項ヨリ第十款第一項マデ議題ト爲シマス

○阪田昌熾君(二百二十八番)

本員ハ此第七款海軍擴張費ノ中ノ百二十萬圓ヲ翌年度ニ回スト云フコトニ、豫算總會デ議決ニナリマシタル要領及其議決ニナリマシタル經過ヲ御報告致シマス、此第七款ノ海軍ノ擴張費ト申シマスモ、今年ノ豫算ノ中デ最モ大イナル所ノ金額デアリマスルガ故ニ、分科會ニ於キマシテモ或ハ秘密會ニシ、或ハ大臣ノ出席ヲ請フテ、最モ秘密ニ、最モ詳細ニ調査致シテアリマスルナレドモ、遂ニ此政府委員ノ答辯ト云フモノハ十分ノ要領ヲ得ルコトガ出來ナカッタデアリマス、第一ニ此第七款ノ最モ大イナル問題トナリマシタルハ、四艘ノ戰艦デアリマス、二艘ハ昨年ノ第一期ノ計畫ニ於キマシテ一等巡洋艦ト爲テ居ッタ船ヲ、設計ヲ變更シテ戰艦トシタノデアリマス、是ヲ海軍省デハ裝鋼甲鐵艦ト名ヲ付ケテ居ルノデアリマス、彼ノ二艘ハ本年新ニ東洋ノ大勢トカ云フ必要カラ、今年製造スルト云フ二艘ノ船デアリマス、此設計ヲ變更スルト云フ二艘ノ船ガ、英吉利ノあるむすどろんぐ會社ニ賣物ニナッタトカ、或ハ公賣ニナッタトカ云フ船デアリマス、ケレドモ海軍當局者ハ此船ガ今度新ニ持ヘル新艦二艘デアリマス、斯ウ云フコトヲ主張サレルノデアリマス、サウ致シマスルト始メ此英吉利ノあるむすどろんぐ會社ニ注文シタガ故ニ、他ノ佛蘭西ヤ獨逸ガ大キニ惡感情ヲ起シテ、條約改正ニマデ影響ヲ及サントスルガ如キコトデアッタメニ、英吉利ニ注文シタガ如キ船ヲ、佛蘭西ト獨逸ト注文シテナケレバナラヌト云フ結果ニナッタノデ、其船ガドウシテモ本當ノ新艦ニナラナケレバナラヌト云フ佛蘭西ト獨逸ト注文スル船ガ新艦ニナラナケレバナラヌデアリマスケレドモ、政府委員ノ説明、又政府ガ豫算主査會ニ出シマシタル所ノ書類ニ依ッテ見マスルト、あるむすどろんぐ會社ヘ注文スルト云フ船ガ、トウシテモ新艦ニナツテ、ソレカラ獨逸ト佛蘭西ト注文シタ船ガ設計替ノ船ト、斯ウナツテ居ルノガ一ツ主査會ト政府委員ト一ツノ衝突ヲ起シタ元ニナツテ居ルノデアリマス、ソレデ尙ホ又一ツ衝突ヲ起シマシタハ、政府ハ此四艘ノ船ハ此議會ノ協贊ヲ經ナイモノデアアル、故ニ注文ヲシテハナイト、斯ウ云フコトヲ主張サレテ居ルノデアリマス、所ガ主査會デハ此船ハ既ニ注文ニナッタノデアアルマイカ、即チ英國ヘ注文シタガタメニ佛蘭西トカ獨逸トカ云フ國ガ日本人民ガ膽ヲ嘗メルトカ新ニ臥スルトカ云フ、即チ敵意ヲ含ンデ吾々ニ向ッテ、軍ヲセンガタメニ軍備擴張ヲセハシナイカト云フ惡感情ヲ起シタノデアリマス、ソレ故遂ニ條約改正ニモ影響ヲ及サントスル勢デアッタカラ已ムヲ得ズ獨逸ト佛蘭西ヘ一艦宛注文シロト云フ命令ヲ政府カラ海軍省ヘ下シタノデアアル、海軍省デハ二期二期ノ艦ノ計畫ハソレノアルカラ勿附ケタノ注文スルコトガ出來ナイト云ツテ勿附ケタ、ソナラ計畫外デモ宜イカラ注文シロト云ツテ、遂ニ佛蘭西獨逸ヘ注文シタノガ、今年新ニ出來ルト云フ新艦二艘デアアル、斯ル事ハ既ニ新聞ニモ出テ居リマシテ私ガ言フ必要ハナイ、大キニ日本ガ獨逸ノわろん商會ニ戰艦ヲ注文シタガタメ、獨逸ガ日本ニ向ッテ感情ガ甚ダ惡カッタガ、近來ハ大キニ感情ガ直ッテ居ル、此事ニ就イテハ駐獨日本公使モ大變盡力サレタト云フコトガ英吉利ノ新聞ニ出テ居リマス、然レバ此艦モ注文ニナッタニ違ヒハナイ、ナッタ場合ニ感情ガ善クナツ

テ來テ居ル、ソレヲ政府ハ今ニ是ハ注文ヲセヌ艦デアアル、議會ノ協贊ヲ經ナイ中ニ注文スルコトハ出來ナイト云フコトヲ主張サレテ、此處デ分科會ト政府ノ意志ガ一致スルコトガ、ドウシテモ出來ナカッタ、ソレデ已ムヲ得マセヌデ是ハ新聞ハ政府ハ皆嘘デアアルト云フ、成程新聞ニ書イテアルコトハ間、間違ッタコトガアリマス、ナレドモ外國ノ新聞ニ日本ノ事ヲ書クノニ、殊更ニ間違ッタ事ヲ書ク必要モナイ様ニ主査會デハ思ッタナレドモ、政府ハドウシテモサウ云フコトハ斷シテナイ、斯ウ云フコトヲ言ハレタタメニ、マサカ國務大臣ガ議員ニ向ッテ嘘偽リヲ言ハレル氣遣ハナイ、是ハ大臣ニ聽クヨリ外任方ガナイド云フノデ、大臣ニ尋ネテ見タ所ガ、總理大臣モ海軍大臣モサウ云フコトハナイ、注文シタコトハナイト斷言サレタカラ、分科會且豫算總會デモ、即チ政府ノ言フコトハ本當デアアル、新聞ニアルコトハ皆詐リデアルト云フコトヲ以テ査定ヲ致シマシタナレドモ、免ニ角サウ致シマスルト、一ツ茲ニ困ッテ來ルコトガアル、ト云フモノハ今年ノ内ニ艦ヲ注文シテ、今年ノ内ニ持ヘ上ゲテ、今年ノ内ニ持ッテ歸ラナケレバナラヌト云フ不都合ガ一ツ生ズル、ドウモ一万噸ノ甲鐵艦ヲ二艘英吉利ノあるむすどろんぐ會社ニ注文シテ、之ヲ持ヘ上ゲテ日本マデ一年ノ内ニ持ッテ來ルト云フコトハ、ドウシテモ出來ナイコトデアアル、然ルニ海軍省デヤツテ見セル、斯ウ云フコトヲ主張サレテ居ルノデアリマス、ケレドモドウモソレハチツトムツカシクハアルマイカ、段々政府委員ニ尋ネテ見マシタ所ガ、少シハ後レルカモ知レヌ、三月三十一日ニ拂フモノガ、四月ノ四五日ニ拂フ様ニナルカモ知レヌ、斯ウ云フ政府委員ノ御答デアリマシタ、故ニソレナラ一番仕舞ニ拂フ所ノ終期ニ拂フ百二十萬圓ダケハ明年度ヘ回シテモ宜イデハナイカト云フコトノタメニ、此百二十萬圓ト云フモノハ來年度ヘ回スト云フ議決ニナッタデアリマス、併ナガラ是モ唯政府委員ガ是非一年ニ持ヘ上ゲル、斯ウ云フコトデアリマシタ故、強テ主査會デモ之ヲ翌年度ニ回サナケレバナラヌト云フ理由ガナカッタ、唯政府委員ノ言葉ヲ逐ッテ往キヨッタ所ガ、政府委員ハ後トヘ引ッ込ンデ、少々ハ延ビルデアラウ、翌年度ヘ延サレテモ仕方ガナイト云フ理窟ニナツテ、已ムヲ得ズ百二十萬圓ハ來年度ヘ回スト云フコトハ、居リマス、然レドモ此艦ハ必ズ今年中ニ日本ヘ來ルト云フコトハ、皆分科會デハ知ッテ居リマス、ソレ故ニ百二十萬圓ヲ翌年度ヘ回シタタメニ、此艦ガ途デ石炭ガ足りナイトカ何トカ言ッテカ、印度海邊ヲブラノ、ブラツクト云フヤウナコトニナルト、實ニ大變ナ失體ヲ起スコトニナリマスカラ、實ハ百二十萬圓ヲ復活シテ、政府案通ニシタイト云フ考デアッタガ、免ニ角議論ノ末ガ自然翌年度ヘ回サナケレバナラヌト云フ理窟ニナッタタメニ、百二十萬圓ダケヲ翌年度ヘ回スコトニナリマシタガ、私ハ寧ロ之ヲ復活スルト云フ希望ヲ述ベテ、之ヲ贊成シタ方ガ政府ノ御爲ニモナリマセウト云フコトヲ附加シテ報告ヲ致シテ置キマス

○議長(鳩山和夫君) 採決致シマス、第七款ノ第一項ニハ委員會ノ修正ガアツテ、唯今主査カラ報告ニナッタ通デゴザイマス、此修正ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者 多數

多數ト認メマス、サウスルト第二項第三項ハ別ニ修正

ガアリマセヌカラ、原案ニ決定シタモノト見テ宜シウゴザリマスカ

〔異議ナシノ聲起ル〕

○議長(鳩山和夫君) 原案通決定致シマス、親高ハ第一項ノ修正ノ結果トシテ六千六百九十九圓四十八錢三厘トナルデアリマス、是モ其通決定シタモノト見テ宜シウゴザリマスカ

〔異議ナシノ聲起ル〕

○議長(鳩山和夫君) 決定致シマシタ、第八款以下第十一款第一項マデ通シテ採決ヲ致シマス、異議ガナケレバ原案ニ決定シタモノト認メマス

〔異議ナシノ聲起ル〕

○議長(鳩山和夫君) 決定致シマシタツレカラ第十一款ノ次ニ政府ノ修正ガアリマス、即チ第十一款第一項ヨリ第八項ニ至ルマデ通シテ議題ト爲シマス、是ハ後トカラ出テ來テ修正デ、別ニ印刷シテ御配付ニナツテ居ル筈デゴザリマス

〔異議ナシノ聲起ル〕

〔トコデスカ分ラヌト呼フ者アリ〕

○議長(鳩山和夫君) 詰リ昨日朝讀シタ筈デゴザリマスガ、第十一款ノ次ニ、新タニ第十二款ヲ挿入スルト云フ政府ノ修正ガ昨日出テ來タノデゴザリマス、詰リ經常部ニアツタ所ノ金額ヲ臨時部ニ移シタト云フアレデゴザリマス

〔異議ナシノ聲起ル〕

○議長(鳩山和夫君) 御異議ガナケレバ原案通決定シタモノト認メマス、海軍省ノ合計ハ、第七款ノ修正ノ結果六千六百九十三萬六千八百八十二圓六十二錢五厘トナリマス、是ハ其通決定シタモノト見テ宜シウゴザリマスカ

○東尾平太郎君(八十八番) マダ政府ノ修正ガアツテツレヨリ殖エマス

○議長(鳩山和夫君) 其他ニマダ十二款ダケ殖エマス、サウスルト總計ハ議長ニ御任セ下サルト、後トデ計算スルコトニ致シマス

〔異議ナシノ聲起ル〕

○議長(鳩山和夫君) 司法省所管第一款ヲ議題ト爲シマス

〔全部異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(鳩山和夫君) 御異議ガナケレバ原案ニ可決シタモノト認メマス、文部省所管第一款第一項ヨリ第七款ノ第六項マデヲ全部議題ト致シマス

〔全部異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(鳩山和夫君) 御異議ガナケレバ全部決定シタモノト認メマス、文部省ノ總計モ原案ノ通決定シタモノト認メマス、農商務所管第一款第一項ヨリ第九款第二項マデ全部議題ト爲シマス

〔異議ナシノ聲起ル〕

○議長(鳩山和夫君) 御異議ガナケレバ原案ニ決定シタモノト認メマス、サウスルト總計ノ所ヲモ原案ノ通決定シタモノト認メマス、次ハ遞信省所管第一款第一項ヨリ第五款第二項マデ通シテ議題ト爲シマス

○平島松尾君(百六十六番) 少シ質問ガゴザリマスガ、北海道ノ利尻、禮文

ノ海底電線ヲ敷設スルト云フコトニ就イテハ、前議會ノ折ニ請願モゴザリマシテ、既ニ議院ハ多數ヲ以テ其請願ヲ認メテ居ルデゴザリマス、又其當時地方ヨリ請願者ノ出テ參リマシテ、其當局者ニ對シテ電信線敷設ノ必要ヲ陳述致シマシタ際ニモ、當局者ハ既ニ第九議會ノ豫算ハ成立ヲ告ゲタ後デアアルカラ已ムヲ得ナイガ、後年度ニハ是非其請願ヲ容レテ豫算ニ組入レルコトニシヤウト云フ御答モアリマシタヤウニ承知致シテ居リマス、又分科會デゴザリマシタカ、イヅレ委員ヨリ其當局者ニ對シテ交渉ヲ致シマシタ際ニモ、第十議會ニ於テハ豫算ニ組入レルト云フ御答辯モアツタヤウニ覺エテ居リマス、イヅレ北海道ニ取リマシテ利尻、禮文ノ間ノ電信線ノナイガタメニ、彼ノ孤島ニ於キマシテモ非常ナ迷惑ヲ感ジ困難ヲ感ジテ居ルト云フ事實ハ、當局者モ委シク御承知ノ筈デゴザリマス、然ルニ當年度ノ豫算ニハ、議會ニ於テモ多數ヲ以テ認メ、又當局者モツレ、御答辯ガアリマシタニモ拘ラズ、當年ノ豫算ニハ此敷設ニ係リマス簡條ガ見エヌ様デアリマスガ、當局者ハドウ云フ御考デ此敷設ヲ御見合セニナリマシタノデゴザリマスカ、一應御意見ヲ伺ヒタイモノデゴザリマス

〔政府委員遞信書記官中橋徳五郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(中橋徳五郎君) 御答致シマスガ、此利尻、禮文ノ海底線ノコトハ、先年ヨリシテ政府ニ於テモ段々手ヲ著ケテ調査ヲ致シテ居リマス、ソレニ就キマシテ建議ノアリマシタコトモ事實デアリマス、ツレカラ其地方ニ對シテ之ヲ架ケルコトノ必要モ認メテ居ルノデゴザリマス、然ル所ガ、本年度ノ豫算ニ於キマシテ、段々此電信線ノ必要ナル箇所ヲ調ベマシテ、サウシテ一々ツレニ就イテ豫算ヲ積ツテ見マシタ所ガ、隨分巨額ナ金ニナツタノデアリマス、利尻、禮文ノ海底電線ノ如キモ十萬圓餘リノ金ニナルノデアリマス、然ルニ今年ハ御承知ノ通ニ先日以來主査會及委員總會ニ於キマシテモ、度御質問モアリ、御希望モアリタ通、各地ノ電信線電信局ノ設置、是等ノ必要ナル費用ノ如キモ十分ニ見込ムコトガ出來ヌヤウナ工合デアリマシタノデ、ソレデ、利尻禮文ノ兩島ニ架ケル電信線ヲ、一年已ムコトヲ得ズ延シタノデアリマス

○平島松尾君(百六十六番) シマスルト、當局者ノ御意見デハ次年度ニハ御差出シニナルト云フ御豫算デゴザリマセウカ

〔政府委員遞信書記官中橋徳五郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(中橋徳五郎君) 次年度ニ必ず出スト云フダケノ御約束ハ今致シ兼ネル、併シ成ルベク時機ヲ見計ラツテ必要ト認メテ居ルモノデアリマスカラ、成ルベク早く出スコトニ致シマスデゴザリマセウ、則チ彼ノ電信局設置ノ如キモ、財政ノ計畫ノ許ス限リ力ノ及ブ限ヤルト云フ見込デアリマス

○議長(鳩山和夫君) 唯今議題トナツテ居ル分ニ就イテ、小金井權三郎君ノ反對ノ通告ガアリマスガ、御出席デゴザリマスカ、採決致シマス、第一款ヨリ終マデ唯今議題ト爲テ居ル所ニハ別ニ修正ハアリマセヌカラ、原案ニ異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシノ聲起ル〕

○議長(鳩山和夫君) 異議ガナケレバ原案ノ通決定シタモノト認メマス、總計モ自然修正ガアリマセヌカラ、原案ノ通決定シタモノト認メマス、拓殖



務省所管第一款ケテ先ツ議題ト爲シマス

○鈴木充美君(六十九番) 此拓殖務省ノ第一款第一項ニ就キマシテハ、主査會ノ委員長デアリマスカ、是ヲ修正シタコトニ就イテ何か御報告デアリマセウカ、若シ御報告ガアリマスレバ、其後トテ御尋ヲ致シタイガ、若シ御報告ガナクナラ直チニ御尋致シタイ

○平島松尾君(百六十八番) 主査ノ目黒君ガ見エマセヌカラ、私カラ一應申述ベヤウト考ヘマス、炭礦鐵道會社ノ補助ニ就キマシテハ、是マデ數回本院ニ於キマシテモ議論ガゴザイマシタ、其議論ノアリマス所ハ、炭礦鐵道會社ノ詰リ石炭ノ運賃ノ安イガタメニ、其計算ノ結果トシテ補助ヲセシケレバナラヌコトニナツテ居ル、若シ是ガ其運賃ヲ高ウスルナラバ、詰リ補助ヲセズトモ濟ムヤウナ計算ニナルヤウニ思ハレル、斯様ナ場所ニ向ツテ政府ヨリ補助ヲスルト云フコトハ、不都合ノコトデアアルト云フヤウナ議論デアリマシテ、度々是レニ對シマシテハ、議論モアツタコトデアリマシタ、當年ノ議會ニ於キマシテハ、是非此補助ノコトニ就キマシテ何トカ取極メタイト云フ分科會ノ考デアリマシタ、ソレ段々當局者トモ引合ヲ致シテ見マシタガ、是ヨリ炭礦鐵道會社ノ補助年限三箇年少々餘ノ間ニ、凡ソ少ナク積リマシテモ二十一萬圓ノ金ハ補助シナケレバナラナイ當局者ノ豫算デアリマシタ、ソレデ當年度ハ此三年有餘ノ間ニ二十餘萬圓ヲ給サナケレバナラヌ所ニ對シマシテ、此全體ヨリ十六萬圓ト云フモノニ凡ソ打切リシテ、サウシテ當年度ハ八萬圓ヲ給シ、後ト殘ル八萬圓ヲ殘補給年限ノ間ニ補助スルト云フコトニシテ、是マデノ會社トノ命令ヲ改メルコトニシタイ斯ウ云フ希望デアリマシタ、遂ニ凡ソ是ヨリ補助スベキ金ヲ十六萬圓ト豫定致シマシタ、然シテ當年ノ豫算ノ九萬圓ヲ削リマシテ、八萬圓ト云フコトニ修正ヲ加ヘマシタ、殘年期ニ對シテ殘ル八萬圓ヲ、然レベク割當ヲシテ補給スルコトニ致シタイト云フノガ、分科會及豫算會ニ於テ決定シマシタ大體ノ要旨デアリマス、尤モ分科會ノ希望ハ當局者ト會社トノ相談ニ依リマシテハ、成ルベク是ヨリ內端ニ補給ニナルコトガ勿論希望デアリマス、併ナガラ萬ガ一當局者ト會社トノ相談ニ依リマシテハ、多少ノ増減ガ——増スコトガゴザイマシテモ、是非此際ニ打切ツテ補給ヲスルコトニ取極メタイト云フ希望デアリマス、増スコト云フモノニ二萬圓モ三萬圓モ増スコトハ希望ニ反スルコトデアリマスガ、五千圓ナリ七千圓ナリ一萬圓以内ノコトナラバ、是非打切ツテ當會社ニ對スル命令ヲ改メタイモノデアアルト云フ、大體ノ考ヨリ八萬圓ト云フコトニ修正ヲ致シマシタ

○鈴木充美君(六十九番) 一寸主査委員長ニ御尋シタイ、代理トシテ御陳ベニナツタ方ニ——此金額ト云フモノハ、詰リ既ニ約束上カラ拂ハナケレバナラヌ様ニ見エマスガ、本年八萬圓、來年再來年ニ二箇年ニ後トノ八萬圓、十六萬圓、打切ルト云フコトガ委員會ノ御考デアアル様ニ承リマシタガ、或ハ二

三萬圓増減ノコトナラ已ムヲ得ヌデアリマセウカ、又ハドウシテモ八萬圓打切ルト云フ意向ヲ御調ベニナリマシタカ、若シ八萬圓打切リマデ遣リキルト云フコトナラバ、會社ガ承諾シナカッタトキハ、ドウナサルト云フ御考デア御調ベニナツタカ其點ヲ……

○目黒貞治君(百九十八番) 平島君カラ代理ヲ申上ゲデアリマスガ、唯

今鈴木君カラノ御質問ニ對シテ簡單ニ御答致シマス、殘ル八萬圓ハ希望デアリマス、併ナガラ實際ノ場ニ當ツテ、一萬圓位ノ差ガアツテモ、是ガ打切ル方ガ宜イト云フ見込デ、二萬圓モ三萬圓モ出シテシヤウト云フノデアアリマセヌカラ、チヨット御答致シマス

○鈴木充美君(六十九番) 尙ホ御尋ネ致シマスガ、凡ソ一萬圓位ノコトナラ打切ル御考ナノデスカ、其程度ヲ……

○目黒貞治君(百九十八番) 左様デアリマス、政府モソレデ腹張ツテ會社ト協議ヲスルコトガ出來ヤウト云フコトデアリマス、稍々是デ打切レヤウカト本員等ノ見込デアリマシタ、居リマス

○政府委員(曾根靜夫君) 唯今議題ニナツテ居ル炭礦鐵道會社補助費ノコトニ就イテ、御參考マデニ御話ヲ致シテ置キマスガ、政府ハ豫算委員會ノ議決ヲ重シシ、該會社ト目下交渉中デアリマス、然レニ會社ノ申出ニ依リマスレバ、將來政府ヨリ受クベキ補助額ハ極低ク見積ツテモ二十餘萬圓バカリノ金額ニ上ボル、之ヲ十六萬圓打切ルト云フコトハ、株主總體ノ同意ヲ得ルコトガ如何デアラウカト懸念セラル、故ニ此御談シハ、必ズ御受ガ出來ルト云フコトハ申難イト云フコトニナツテ居リマス、政府ハ尙ホ此上熟議ヲ遂ゲ、成ルベク十六萬圓打切ツテ協議ヲ續メル積デアリマスガ、萬一右ノ金額ニテ協議ノ總ラヌトキニハ、或ハ一萬圓内外位ノ増減ヲ生ズルカモ計リ難ク御坐リマスカラ、其邊ハ豫メ御承知置キテ願マス、若シ協議ガ續リマスレバ、其結果ハ豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スルモノトシテ、議會ノ協贊ヲ求メルコトニナルダラウト存シマス

○議長(鳩山和夫君) 採決致シマス、是ハ修正ガゴザイマスガ、此修正ガ可決セララル、場合ニハ、本項ハ憲法六十七條ノ政府ノ義務ニ屬スル費目デアリマシマスカラ、政府ノ同意ヲ得ル都合ニナリマス、第一項修正案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者 多數

○議長(鳩山和夫君) 多數ト認メマス、直チニ同意ヲ得ル手續ヲ致シマス

(政府委員大藏次官法學博士男爵田尻稻次郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(男爵田尻稻次郎君) 唯今ノ炭礦鐵道ノ補助費デアリマスガ、之ハ憲法ノ六十七條ノ費目デアリマスカラ、御同意ヲ求メラレマシタデアリマス、議長ヨリ政府ニ同意ヲ求メラレマシタデアリマス、所ガ此費目ノ性質ハ誠ニ削減ニナリマスルト、他日不足等ヲ生ジタトキニ如何トモ仕方ガアリマセヌ、此物ハ不足ヲ生ジテ他動的ヨリ來ルコトガアルカラ、何トカ外ニ處辨ノ途ヲ付ケナケバナラヌト云フ困難ガアル、併ナガラ此場合ニ些々タルコトヲ爭ハズ、政府ヲ代表シテ快ク同意ヲ表シマス、併ナガラ茲ニ一ツ言葉ヲ殘シテ置カナクンバナラヌノハ、唯今申シマシタ他動的ヨリ不足ヲ生ジテ、此削減ノ結果、或ハ豫備費支出トカ、或ハ又諸君ヲ煩シテ追加豫算トナルト云フ不幸ヲ見ルカモ知レマセヌガ、併ナガラ今日ノ所デアリハ別ニ御爭ヲ致シマセヌ

○議長(鳩山和夫君) 第二項ニハ修正ガゴザイマセヌカラ、原案ニ決定致シマス

(異議ナシノ聲起ル)

○議長(鳩山和夫君) 從ッテ第一款ノ親高ハ八万七千圓ト見テ宜シウゴザイ  
マスカ

○議長(鳩山和夫君)ノ聲起ル  
○議長(鳩山和夫君) 其通決定致シマス、第二款以下第十一款第一項迄通シ  
テ議題トナシマス

○議長(鳩山和夫君) 然ラバ原案ニ決定シタモノト認メマス、拓殖務省ノ總  
計、是ハ修正ノ結果、第一款ノ修正ノ結果、總計ニ變動ヲ來シマスガ、是ハ  
議長ガ計算シタ結果ヲ以テ決議ト見テ宜シウゴザイマスカ

○議長(鳩山和夫君) 其通決定ヲ致シマス、歳出臨時部ノ合計、竝ニ歳出ノ  
總計デゴザイマス、此第二項トモ修正ノ結果自然變更ヲ生ズル譯デゴザイマ  
スカ、議長ガ計算シタル其結果ヲ以テ、諸君ノ議決ト見テ宜シウゴザイマスカ

○議長(鳩山和夫君) 其通決定致シマス、ツレカラ歳入ノ部ニ移リマス、歳  
入ハ經常部ト臨時部ト併セテ通シテ議題ト爲シマス、臨時部ハ鈴木充美君ノ  
反對ノ通告ガアリマス

○鈴木充美君(六十九番) 私ハ通告ヲ致シテ置キマシタガ、其以前ニ質問ヲ  
致シタウゴザイマス——政府委員ニ御尋フ致シマスガ、歳入臨時部ノ第七  
款公債募集金ノ所デ質問ヲ致シタイ、其趣旨ハ此六千何百万圓、此巨額ノ金  
員ガ此一年間ニ公債トシテ募ルコトガ出來ルト云フノ、御見込デアルヤ否ヤ  
ト云フコトヲ先ツ第一……

○政府委員(男爵田尻稻次郎君) 鈴木君ニ御答致シマスガ、募リ得ル積デア  
リマス  
○鈴木充美君(六十九番) 然ラバ如何ナル縁合セモナクシテ募ラレルト云フ  
御見込デアリマスカ

○政府委員(男爵田尻稻次郎君) 多少縁合セハ必要デアリマス  
○鈴木充美君(六十九番) 他ノ金員カラ之ヲ縁合セラシテ、或ハ償金等カラ  
遣線リヲシテ募ルト云フヤウナ策デアハナイデアリマスカ

○政府委員(男爵田尻稻次郎君) 遣線リト云フノハ甚ダ言葉ガ悪ルウゴザイ  
マスカ、遣線リデアハ決シテナイ、相當ニ償金特別會計ヲト云フモノガアリマ  
スカ、法律ノ相當ノ働ヲ以テ多少ノ線替ヲ致ス積デアリマス

○鈴木充美君(六十九番) 其方法ハドウ云フ形ニシテ……  
○政府委員(男爵田尻稻次郎君) 即チ償金デ應ジマス、償金特別會計ト云フ  
モノデ應ジマス

○鈴木充美君(六十九番) 其償金特別會計ノ如何ナル方法ニ依ッテ、如何ナ  
ル金額ヲドウ縁合シテ……  
○政府委員(男爵田尻稻次郎君) ソレハ償金特別會計法ノ二條ニ依ッテヤリ  
マス  
○鈴木充美君(六十九番) 幾何マデノ金額ヲツレニ依ッテヤリマスカ

○政府委員(男爵田尻稻次郎君) ツレハ臨機應變デアリマシテ、今日高ラキッ  
チリ指示スト云フコトハ誰モ出來マセヌ

○鈴木充美君(六十九番) 然ラバ是ハマルデ公債募集ト云フコト、違ッテ、  
償金ト云フモノヲ他カラ或部分ニ繰入レテ、其繰入レタモノヲ以テ、公債ヲ  
或ハ日本銀行カラ買ハシムルト云フヤウナ方法ニデモナルノデアアリマセヌ  
カ

○政府委員(男爵田尻稻次郎君) サウ云フコトハナイデス、日本銀行ニ買ハ  
セルト云フコトハ公債募集ニハ決シテナイデス

○鈴木充美君(六十九番) 應ジサセルト云フコトモナイデスカ  
○政府委員(男爵田尻稻次郎君) 日本銀行ガ自分ノ金デ應ズルコトハアリマ  
セウケレドモ、唯今ノハ少シ解シ兼ネマスガ、日本銀行ニ公債ヲ買ハセルト  
云フコトハナイ

○鈴木充美君(六十九番) 然ラバ償金ノ縁合セト云フ手續ハ、ドウ云フ手續  
デアルカ、明細ニ御述ベテ願ヒタイ  
○政府委員(男爵田尻稻次郎君) ツレハ特別會計法ト云フモノガアリマシ  
テ、其特別會計ノ期限ガ、ツレニ應ズルト云フコトガ出來ルノデアリマス、  
即チ有價證券ヲ以テ償金ヲ保持スルト云フコトデアアル、ツレハ法律ノ明文デ  
ス

○鈴木充美君(六十九番) 其働キ上ノコトヲ御尋スルツデアリマス、法律ノ  
明文ナラバ本員ハ知ッテ居リマス  
○政府委員(男爵田尻稻次郎君) 應ズルト云フダケ……  
○鈴木充美君(六十九番) ドウ應ズルト云フ……  
○政府委員(男爵田尻稻次郎君) 募集ニ應ズルノデス

○鈴木充美君(六十九番) 償金ヲ以テ募集ニ應ズルト云フノ御答  
○政府委員(男爵田尻稻次郎君) 左様  
○鈴木充美君(六十九番) 然ラバ償金ヲ以テ公債ヲ買入レルト云フコト、同  
シ結果ニナルト云フ御趣意デアリマスカ

○政府委員(男爵田尻稻次郎君) 應ズルト云フノハ——募集ニ應ズルト云フ  
ノハ一方カラ言ハバ買フト云フコトニ違ヒナイケレドモ、償金バカリデア  
リマセヌ、當リ前ノ募リモ随分致ス積デアリマス

○鈴木充美君(六十九番) 然ラバ大約極ク大體デ宜イ、當リ前ノ普通一般ノ  
人民カラ募ルト云フノト、公債ヲ以テ應ズルト云フ方法ト、其區分ガドウ位  
ノ割合ヲ以テ……

○政府委員(男爵田尻稻次郎君) ツレハ臨機應變デアリマスカ、市場ノ景  
況ガ宜カッタナラバ澤山募リマスシ、惡ルカッタナラバ少シ程募ラレト見ナ  
ケレバナラナイ、市場ノ景況ガ大變宜ケレバ其部類ノ働キガ極ク小サクナル  
ツレハ臨機應變デアリマスカ、豫メイクライクラト云フ比例ハドウシテモ  
立テルコトハ出來ナイ、市場ヨリ成ルナケ募ル方ガ宜イデス、又市場ノ迷惑ニ  
ナラヌダケ、極ク市場ノ穩ナルダケノ高ハ、成ルタケサウシテ募ル方ガ宜イ  
ノデス——マデアリマスカ

○鈴木充美君(六十九番) 宜ウゴザイマス——通告ノ通告壇ヲシテ演説ヲ致  
シタイ

○議長(鳩山和夫君) 前ノ方ノ項ニ修正ガ出テ居リマスガ……

○鈴木充美君(六十九番) 其後テ宜ウゴザイマス

(藤金作君演壇ニ登ル)

○藤金作君(五十五番) 昨日農商務省ノ第二款ノ部ニ於テ、官行事業ヲ止メニスルト云フコトニ於テ、九万六千十圓七錢五厘ヲ節減ヲ致シマシタ、其結果トシテ歳入ノ第五項森林收入ノ部ニ於テ、二十万二千八百圓ト云フ節減ノ必要ヲ生ジマシタ譯デ、是ハモウ昨日ノ修正ノ結果テゴザイマスカラ、別段理由ヲ述ブル必要ハゴザイマス

○議長(鳩山和夫君) 藤君ノ修正ニ賛成ガゴザイマスガ

(賛成ト呼フ者アリ)

○議長(鳩山和夫君) 成規ノ賛成ガアルト考ヘマスカラ、議題ト爲シマス

○鈴木充美君(六十九番) ツレマデノ所ヲ採決シテ、其後テ御登壇ナスツテモ宜ウゴザイマスガ

○鈴木充美君(六十九番) 宜ウゴザイマス

○議長(鳩山和夫君) 外ニ御異議ガナケレバ採決シヤウト思ヒマス——採決シマス、即チ甲號ノ歳入經常部ノ中ノ、第一款カラ第三款第四項マデノ決ヲ採リマス、原案ニ御異議ガナケレバ原案ノ通決定シマス

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(鳩山和夫君) 原案ノ通決定致シマス、第五項ニハ藤金作君ノ修正ガゴザイマス、即チ此金額ヲ百十五万六千九百七十三圓二錢二厘ト致シマス、此修正ハ昨日諸君ノ御決定ニナツタ農商務省ノ所管ニ於ケル第二款ノ修正ノ結果テゴザイマスガ、修正説ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者 多數

○議長(鳩山和夫君) 多數ト認メマス、修正説ニ決定致シマス、第六項以下第十六項竝ニ第四款第五款、此間ニハ修正ガアリマセヌガ、原案ノ通決定致シテ宜ウゴザイマスガ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(鳩山和夫君) 原案ノ通決定致シマス、歳入臨時部第一款カラシテ第六款第一項マデ採決シマス、御異議ガナケレバ……

○岡田良一郎君(百六十番) 本員ハ少シ政府委員ニ御尋スルコトゴザイマセヌガ

○議長(鳩山和夫君) ドノ項ニ就イテデスカ

○岡田良一郎君(百六十番) 公債ノ項ニ就イテデス

○議長(鳩山和夫君) 第七款デスカ

○岡田良一郎君(百六十番) 左様

○議長(鳩山和夫君) ツレデハ六款マデ決ヲ採ツタ後ノ方ガ便利デハゴザイマセヌカ

○岡田良一郎君(百六十番) 宜シウゴザイマス

○議長(鳩山和夫君) 第一款カラ第六款第一項迄ノ間、異議ガナケレバ原案ノ通決定シタモノト認メテ宜ウゴザイマスガ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(鳩山和夫君) 原案ノ通決定致シマシタ

○岡田良一郎君(百六十番) 議長

○議長(鳩山和夫君) 併シ其前ニ通告ガアリマスガ、アナタ質問デスカ

○岡田良一郎君(百六十番) 左様

○議長(鳩山和夫君) 質問ナラ宜シウゴザイマス

○岡田良一郎君(百六十番) 質問ナラ宜シウゴザイマス、市場ヨリシテ募ルヌケレバ債金特別會計ヨリシテ募集ニ應ズルコト云フノデアリマスガ、ツレバサウナコトデゴザイマス、併シ債金特別會計ヨリシテ募集ニ應ズル市場ガ、若シ其募集ニ應ジマスレバ、債金特別會計ノ金ヲ別ニ取ツテ置クルコト云フヤウナ結果ヲ生ジマスガ、債金特別會計ニ金ガ餘リガアル、其餘ツテ居ル金ヲバドウシテ置キマスガ、日本銀行ニ安利益、モ預ケテ置クコト云フコトニナリマスガ、ドウ云フコトニナリマスガ、ツレバ承リタイ

(政府委員大藏省主計局長松尾臣善君演壇ニ登ル)

○政府委員(松尾臣善君) 債金特別會計法カラ公債ノ募集ニ應ジマセヌケレバ、債金特別會計法中ニ現金ヲ保存致シマシテ、債金會計部ヨリ相當ニ支出スベキ時機ニ支出ヲ致シマス

○岡田良一郎君(百六十番) ツレデハ債金特別會計ヨリシテ支出スルハ、即チ其用途ニアツタ時ニ支出スルノデアリマスガ

○政府委員(松尾臣善君) 左様

○岡田良一郎君(百六十番) 用途ノナイ間ハ其金ハドウ致シテ置キマスガ

○政府委員(松尾臣善君) ツレハ金庫ニ保存致シテ置キマス

○岡田良一郎君(百六十番) ツレハ無利息テ仕舞ツテ置キマスガ

○政府委員(松尾臣善君) ツレハ無利息テ置クコトモアリマス、若シ又相當ノ運用方法ガゴザイマシタナラバ、其法ニ依ツテ運用致スコトモゴザイマス

○岡田良一郎君(百六十番) 金庫ニ仕舞ツテ置キマスガ、日本銀行ニ預ケテ置キマスガ

○政府委員(松尾臣善君) 金庫ニ仕舞ツテ置キマス

○岡田良一郎君(百六十番) 唯遊バシテ置クノデアリマスガ

○政府委員(松尾臣善君) 左様

○工藤行幹君(百九十七番) 議長

○議長(鳩山和夫君) 何デスカ

○工藤行幹君(百九十七番) 一寸質問致シタイコトゴザイマス、私モ一寸承リタイノハ前年度繰入金ト云フコトデアリマス、是ハ前年度デ是ダケ餘ルト云フモノデアレバ、金ノ多少ニ拘ラズ此見込ニ依ツテ金高ヲ掲ゲルノデゴザイマスガ、或ハ此歳入歳出ヲ鈎合セル分ダケ、前年度ノ例ヘバ二千万圓ノ金ノ餘リガアツテモ、歳入ト歳出ヲ鈎合セルタメニ、即チ五十七万圓ト云フモノガアレバ、其高ガ合ヒマスカラ、是ダケノ金ヲ、澤山アル内カラ相應スルダケノ金ヲ茲ニ擧ゲテ來ルノデアリマスガ、若クハ此歳入歳出ノ高ヲ合セルタメデハナクシテ、前年度デ是ダケハ餘ラウト云フ高ヲ繰上ゲテ來ルノデアリマスガ、其理由ヲ承リタイ

(政府委員大藏省主計局長松尾臣善君演壇ニ登ル)



○政府委員(松尾臣善君) 唯今ノ前年度ノ繰入金ハ、其繰入レラレマス年デ必要ナ高ダケヲ掲ゲマス、若シ必要デゴザイマセヌケレバ、會計法ニ據リマシテ獨リ翌年度ノ歳入ニ這入ッテ仕舞ヒマス

○工藤行幹君(百九十七番) モウ一ツ承リタイ、此支出ノ方ニ必要ガナケレバ、又前年度ニ澤山餘リガアツテモソレハ入レヌノデゴザイマスカ、然ラバ若シヤ又支出ノ方ニ必要ガ生ズル時ニハ、即チ前年度カラ繰出シテ來ル金ハ、ナシボモアルノデゴザイマスカ

○政府委員(松尾臣善君) ソレハ會計年度ガ終リマスト、必ズ翌年度ノ歳入ニナリマス、何時迄モ前年度ニ殘ッテ居ル譯デアリマセヌ

○工藤行幹君(百九十七番) ソレハ能ク分ッテ居リマスガ、前年度ニ於テ此外ニマダ金ガ澤山アルカ、アルナラバ凡ソ會計年度ガ終ラナケレバ、ガツチリシタコトハ分リマスマイガ、凡ソドノ位ノ見込ガアルト云フコトハ分ッタナラバ承ッテ置キタイ

○政府委員(松尾臣善君) 二十八年度ノ分デスカ——ソレハモウ僅シカ殘ッテ居リマセヌ、五六千圓ホカ唯今殘ッテ居リマセヌ

○議長(鳩山和夫君) 鈴木充美君

○鈴木充美君(六十九番) 臨時歳入ノ第七款公債募集ノ事ニ就イテ意見ヲ述ベマスルガ、唯今政府委員ニ質問ヲ致シマシテ、其政府委員カラ得マシタ所ノ御答ハ、六千万以上ノ金額ト云フモノハ、今日ノ市場テ募レヌノデアルト云フコトハ、其意味ニ十分含シテ居ルヤウニ思ヒマス、其場合ニ於テハ、債金特別會計法ニ依ッテ債金ヲ以テ之ヲ應ズルト云フ單簡ナル御答デ、隨分念ヲ押シテ御尋フ致シタ積デアリマスガ、深クハ御答ガナイヤウニ考ヘマシタ、凡ソ此私ハ學理上經濟學ト云フモノ、上カラ、國家ノ經濟ニドツチガ損ダトカ、ドツチガ得ダト云フコトヲ以テ今日ハ立論スルノデアリマセヌガ、經濟社會ノ事柄ハ不安心程恐ロシイコトハナイト信ジマス、ドノヤウナ商業ヲ致スニモ、ドノヤウナ金儲ヲシヤウト思フニモ、凡ソ世ノ中ニ看板ヲ出サレテ、此看板通世ノ中ノ經濟ガ動イテ往クト云フコトヲ第一ノ目途ニシ、其目途ニ基イテ、是カラ金ノ融通ト云フモノガ世ノ中ニドウ云フ勵ヲスルト云フコトヲ第一ニ銘々ノ心ノ中ニ置イテ、其精神ニ基イテ商業ヲスルノデモ、總テノ金儲ヲスルノデモ、安心ヲ付ケテ往カナケレバナラヌト信ジマスル、不安心デ先キノ分ヲ又ト云フ程、商業上ニ恐ロシイ害ヲ爲スコトハナイ、商業不振ノ原因ナル最モ大ナルモノハ、不安心ト云フコトデアラウト信ジマスル、然ルニ此政府ガ三十年度ニ於テ、表ノ看板ハドノヤウナモノヲ掲ゲテ居ルカト云フト、六千万以上ノ金額ヲ、一般ノ公債トシテ、募集スルト云フ看板ヲ掲ゲテ居ルノデアリマス、而シテ此金額ト云フモノハ、吾々ノ考ヘマスル所ニ依リカスルモ、又世ノ中ノ一般ノ人ニ聞キマスルモ、斯ノ如キ巨額ノ半分モ市場カラ募ルコトハ六ヶ敷イト云フコトハ、殆ド疑モナキ所ノ一般ノ定論デアルト云フテモ宜カラウト信ズルノデアリマス、又政府ニ於テモ如何ナル見込デ、如何ナル企アルカハ分ラヌケレドモ、免ニ角此全部ト云フモノハ、市場カラ募ラレ得ベキモノデアナイト云フコトダケハ、略々見込ニ出ニナルモノト見エテ、唯今ノ御答ニ依ッテモ其趣旨ハ明瞭ニナツテ居リマスル、此金額ガ市場カラ募ラレヌモノデアラナラバ、他ニ之ヲ求メナケレバナラヌ、

即チ唯今政府委員ガ説明セラレマシタ如ク、此四民、一般ノ人民カラ公債トシテ募集スル中ニハ、償金ヲ以テ募集ニ應ズル、特別會計法ニ依ッテ償金ヲ以テ應ズル見込デアルト云フコトヲ申サレテ居ルノデアリマス、若シサウデアラナラバ、豫算ノ表面ニ現ハレテ居ルモノト、内心トハ遣方ノ方法ガ違フノデアリマスル、斯ノ如キコトハ、實ニ豫算ニ示スモノハ、世ノ中ノ人ニ明ニ示サレルモノデアアル、其明ニ示サレタモノト、實際ニ行フ所ノ方法ト違フナラバ、世ノ中ノ人ハ爲ニ不時ノ變化ヲ被ッテ、甚シイ困難ニ陥ルルガ往アルト信ズルノデアリマス、此ヤウナ事ガ表面ニ現レタコト、事實ト違フナラバ、政府ハ實ニ虛偽ノ事柄ヲ世ノ中ニ示シテ居ルノデアリマス、政府ハ實ニ議會ヲ欺キ、帝國臣民ヲ欺キ、滿天下ノ人ヲ欺カントスル所ノモノヲ以テ、豫算ノ題目ニ致シテ居ルノデアアル、抑々豫算ト云フモノハ、斯ウ云フ仕方ヲ以テ金ヲ募ルノデアルト云フコトカラシテ、其仕拂ノ方法ヲ、世ノ中ニアル如ク、其形ノアル如クニ行フト云フコトヲ示シテコソ、此非常ナル巨額ノ金ト云フモノニ不都合ハ生ジナイケレドモ、實際ニ行フ所ト、表面ニ現レタ所ト違フト云フコトニナツテハ、意想外ノ經濟ニ攪亂ヲ惹起スト云フコトハ、實ニ明々白々ナルコトデアアラウト信ジマスル、而シテ償金ヲ以テ此公債ノ募集ニ應ズルト云フコトガアリマシタナラバ、私ハ經濟ノ學理ノ事ハ深ク知リマセヌケレドモ、免ニ角人民カラ募集スルト云フコト、違ッテ、ウレ式ノ流用スル所ノ金額ハ、日本ニ殖エテ來ルニ違ヒナイ、從ッテ何處カニ影響ヲ起スデモアリマセウシ、又其募ラレタ所ノ公債證書ノ處置ニ就イテモ、表面ニ現レタモノヨリハ大イニ異ナツタル所ノ有様ヲ現ハシテ來テ、世ノ中ノ經濟社會ノ人ト云フモノヲシテ、不意ノ變化ヲ被ラシムルト云フコトニ至ッテハ、殆ド明瞭ナルコトデアアラウト思ヒマスル、斯ノ如ク人ノ豫想外ニ出テ、不意ノ變化ヲナサシムルト云フヤウナコトヲ以テ、豫算ニ最モ大事ナル歳入ノ部分ト致サル、ノハ、實ニ其當ヲ得ナイ、甚シイモノデアラウト考ヘマスル、是ガタメニ一時ノ僥倖ヲ得ルガアルカモ知レマセヌケレドモ、是ハホソノ一時ノ僥倖デ、斯ノ如キコトハ頼ムニ足ラヌ、己レノ最初ニ立テタ目的通ニ飽マデ行ヒ得ルト云フコトガ、國家ノタメニハ幸デアアツテ、僅ノ人ノ僥倖ノタメニ金儲ヲスルト云フコトニ至ッテハ、實ニ驚クベキコトデアアルト云フケレバナラヌ、元來現内閣ノ遣方ハ、總テ自分ノ行ハントスル所ヲ秘密ニシテ置イテ、不意ニ持出シテ世ノ中ノ人ニ意外ナル變動ヲ與ヘテモ差支ナイト云フヤウナ、一體ノ遣方ヲシテ居ラル、モノノ考ヘラレルノデアリマス、其證據ハ、松方大藏大臣ノ御演說中ニモ種々ノ質問ガアルト、或ハ抱負ガアルトカ、何トカ隱シテ仕舞ッテ之ヲ明言セラレナイ、而シテ世ノ中ノ——世上ニ傳ハル所カラ見マスルト、或ハ金貨本位ト云フヤウナコトヲ行ハントスルコトヲ企テ、居ラル、ト云フヤウナ話デアリマスル、免ニ角物ヲ秘密ニシテ置イテ之ヲ現ストキニハ、極ク不意ニ現シテ世ノ中ヲ引揺キ回シテモ差支ナイト云フヤウナ、一體ノ經濟ノ方法ヲ採ッテ居ラル、様ニ信ジマス、斯ノ如キ方針、即チ不意ニ變化ヲ人民ニ與ヘルヤウナ方針ヲ以テ行フ様ナ一體ノ豫算方法ニシマシテモ、國家經濟ノ取扱ニシマシテモ、吾々ハ最モ不同意デアルト云フコトヲ申サナケレバナラヌノデアリマス、即チ此臨時歳入第七款モ右ノ通ニ、本員ハ表面ニ現ハレテ居ルコト、成程名ハ公債ノ募集ニ違ヒハナイケレドモ、其政府ノナス所ノ方法ニ至ッテハ、普通ノ公債募集ト違ッテ、他ノ

○鈴木充美君(六十九番) 臨時歳入ノ第七款公債募集ノ事ニ就イテ意見ヲ述ベマスルガ、唯今政府委員ニ質問ヲ致シマシテ、其政府委員カラ得マシタ所ノ御答ハ、六千万以上ノ金額ト云フモノハ、今日ノ市場テ募レヌノデアルト云フコトハ、其意味ニ十分含シテ居ルヤウニ思ヒマス、其場合ニ於テハ、債金特別會計法ニ依ッテ債金ヲ以テ之ヲ應ズルト云フ單簡ナル御答デ、隨分念ヲ押シテ御尋フ致シタ積デアリマスガ、深クハ御答ガナイヤウニ考ヘマシタ、凡ソ此私ハ學理上經濟學ト云フモノ、上カラ、國家ノ經濟ニドツチガ損ダトカ、ドツチガ得ダト云フコトヲ以テ今日ハ立論スルノデアリマセヌガ、經濟社會ノ事柄ハ不安心程恐ロシイコトハナイト信ジマス、ドノヤウナ商業ヲ致スニモ、ドノヤウナ金儲ヲシヤウト思フニモ、凡ソ世ノ中ニ看板ヲ出サレテ、此看板通世ノ中ノ經濟ガ動イテ往クト云フコトヲ第一ノ目途ニシ、其目途ニ基イテ、是カラ金ノ融通ト云フモノガ世ノ中ニドウ云フ勵ヲスルト云フコトヲ第一ニ銘々ノ心ノ中ニ置イテ、其精神ニ基イテ商業ヲスルノデモ、總テノ金儲ヲスルノデモ、安心ヲ付ケテ往カナケレバナラヌト信ジマスル、不安心デ先キノ分ヲ又ト云フ程、商業上ニ恐ロシイ害ヲ爲スコトハナイ、商業不振ノ原因ナル最モ大ナルモノハ、不安心ト云フコトデアラウト信ジマスル、然ルニ此政府ガ三十年度ニ於テ、表ノ看板ハドノヤウナモノヲ掲ゲテ居ルカト云フト、六千万以上ノ金額ヲ、一般ノ公債トシテ、募集スルト云フ看板ヲ掲ゲテ居ルノデアリマス、而シテ此金額ト云フモノハ、吾々ノ考ヘマスル所ニ依リカスルモ、又世ノ中ノ一般ノ人ニ聞キマスルモ、斯ノ如キ巨額ノ半分モ市場カラ募ルコトハ六ヶ敷イト云フコトハ、殆ド疑モナキ所ノ一般ノ定論デアルト云フテモ宜カラウト信ズルノデアリマス、又政府ニ於テモ如何ナル見込デ、如何ナル企アルカハ分ラヌケレドモ、免ニ角此全部ト云フモノハ、市場カラ募ラレ得ベキモノデアナイト云フコトダケハ、略々見込ニ出ニナルモノト見エテ、唯今ノ御答ニ依ッテモ其趣旨ハ明瞭ニナツテ居リマスル、此金額ガ市場カラ募ラレヌモノデアラナラバ、他ニ之ヲ求メナケレバナラヌ、

○鈴木充美君(六十九番) 臨時歳入ノ第七款公債募集ノ事ニ就イテ意見ヲ述ベマスルガ、唯今政府委員ニ質問ヲ致シマシテ、其政府委員カラ得マシタ所ノ御答ハ、六千万以上ノ金額ト云フモノハ、今日ノ市場テ募レヌノデアルト云フコトハ、其意味ニ十分含シテ居ルヤウニ思ヒマス、其場合ニ於テハ、債金特別會計法ニ依ッテ債金ヲ以テ之ヲ應ズルト云フ單簡ナル御答デ、隨分念ヲ押シテ御尋フ致シタ積デアリマスガ、深クハ御答ガナイヤウニ考ヘマシタ、凡ソ此私ハ學理上經濟學ト云フモノ、上カラ、國家ノ經濟ニドツチガ損ダトカ、ドツチガ得ダト云フコトヲ以テ今日ハ立論スルノデアリマセヌガ、經濟社會ノ事柄ハ不安心程恐ロシイコトハナイト信ジマス、ドノヤウナ商業ヲ致スニモ、ドノヤウナ金儲ヲシヤウト思フニモ、凡ソ世ノ中ニ看板ヲ出サレテ、此看板通世ノ中ノ經濟ガ動イテ往クト云フコトヲ第一ノ目途ニシ、其目途ニ基イテ、是カラ金ノ融通ト云フモノガ世ノ中ニドウ云フ勵ヲスルト云フコトヲ第一ニ銘々ノ心ノ中ニ置イテ、其精神ニ基イテ商業ヲスルノデモ、總テノ金儲ヲスルノデモ、安心ヲ付ケテ往カナケレバナラヌト信ジマスル、不安心デ先キノ分ヲ又ト云フ程、商業上ニ恐ロシイ害ヲ爲スコトハナイ、商業不振ノ原因ナル最モ大ナルモノハ、不安心ト云フコトデアラウト信ジマスル、然ルニ此政府ガ三十年度ニ於テ、表ノ看板ハドノヤウナモノヲ掲ゲテ居ルカト云フト、六千万以上ノ金額ヲ、一般ノ公債トシテ、募集スルト云フ看板ヲ掲ゲテ居ルノデアリマス、而シテ此金額ト云フモノハ、吾々ノ考ヘマスル所ニ依リカスルモ、又世ノ中ノ一般ノ人ニ聞キマスルモ、斯ノ如キ巨額ノ半分モ市場カラ募ルコトハ六ヶ敷イト云フコトハ、殆ド疑モナキ所ノ一般ノ定論デアルト云フテモ宜カラウト信ズルノデアリマス、又政府ニ於テモ如何ナル見込デ、如何ナル企アルカハ分ラヌケレドモ、免ニ角此全部ト云フモノハ、市場カラ募ラレ得ベキモノデアナイト云フコトダケハ、略々見込ニ出ニナルモノト見エテ、唯今ノ御答ニ依ッテモ其趣旨ハ明瞭ニナツテ居リマスル、此金額ガ市場カラ募ラレヌモノデアラナラバ、他ニ之ヲ求メナケレバナラヌ、

○鈴木充美君(六十九番) 臨時歳入ノ第七款公債募集ノ事ニ就イテ意見ヲ述ベマスルガ、唯今政府委員ニ質問ヲ致シマシテ、其政府委員カラ得マシタ所ノ御答ハ、六千万以上ノ金額ト云フモノハ、今日ノ市場テ募レヌノデアルト云フコトハ、其意味ニ十分含シテ居ルヤウニ思ヒマス、其場合ニ於テハ、債金特別會計法ニ依ッテ債金ヲ以テ之ヲ應ズルト云フ單簡ナル御答デ、隨分念ヲ押シテ御尋フ致シタ積デアリマスガ、深クハ御答ガナイヤウニ考ヘマシタ、凡ソ此私ハ學理上經濟學ト云フモノ、上カラ、國家ノ經濟ニドツチガ損ダトカ、ドツチガ得ダト云フコトヲ以テ今日ハ立論スルノデアリマセヌガ、經濟社會ノ事柄ハ不安心程恐ロシイコトハナイト信ジマス、ドノヤウナ商業ヲ致スニモ、ドノヤウナ金儲ヲシヤウト思フニモ、凡ソ世ノ中ニ看板ヲ出サレテ、此看板通世ノ中ノ經濟ガ動イテ往クト云フコトヲ第一ノ目途ニシ、其目途ニ基イテ、是カラ金ノ融通ト云フモノガ世ノ中ニドウ云フ勵ヲスルト云フコトヲ第一ニ銘々ノ心ノ中ニ置イテ、其精神ニ基イテ商業ヲスルノデモ、總テノ金儲ヲスルノデモ、安心ヲ付ケテ往カナケレバナラヌト信ジマスル、不安心デ先キノ分ヲ又ト云フ程、商業上ニ恐ロシイ害ヲ爲スコトハナイ、商業不振ノ原因ナル最モ大ナルモノハ、不安心ト云フコトデアラウト信ジマスル、然ルニ此政府ガ三十年度ニ於テ、表ノ看板ハドノヤウナモノヲ掲ゲテ居ルカト云フト、六千万以上ノ金額ヲ、一般ノ公債トシテ、募集スルト云フ看板ヲ掲ゲテ居ルノデアリマス、而シテ此金額ト云フモノハ、吾々ノ考ヘマスル所ニ依リカスルモ、又世ノ中ノ一般ノ人ニ聞キマスルモ、斯ノ如キ巨額ノ半分モ市場カラ募ルコトハ六ヶ敷イト云フコトハ、殆ド疑モナキ所ノ一般ノ定論デアルト云フテモ宜カラウト信ズルノデアリマス、又政府ニ於テモ如何ナル見込デ、如何ナル企アルカハ分ラヌケレドモ、免ニ角此全部ト云フモノハ、市場カラ募ラレ得ベキモノデアナイト云フコトダケハ、略々見込ニ出ニナルモノト見エテ、唯今ノ御答ニ依ッテモ其趣旨ハ明瞭ニナツテ居リマスル、此金額ガ市場カラ募ラレヌモノデアラナラバ、他ニ之ヲ求メナケレバナラヌ、

○鈴木充美君(六十九番) 臨時歳入ノ第七款公債募集ノ事ニ就イテ意見ヲ述ベマスルガ、唯今政府委員ニ質問ヲ致シマシテ、其政府委員カラ得マシタ所ノ御答ハ、六千万以上ノ金額ト云フモノハ、今日ノ市場テ募レヌノデアルト云フコトハ、其意味ニ十分含シテ居ルヤウニ思ヒマス、其場合ニ於テハ、債金特別會計法ニ依ッテ債金ヲ以テ之ヲ應ズルト云フ單簡ナル御答デ、隨分念ヲ押シテ御尋フ致シタ積デアリマスガ、深クハ御答ガナイヤウニ考ヘマシタ、凡ソ此私ハ學理上經濟學ト云フモノ、上カラ、國家ノ經濟ニドツチガ損ダトカ、ドツチガ得ダト云フコトヲ以テ今日ハ立論スルノデアリマセヌガ、經濟社會ノ事柄ハ不安心程恐ロシイコトハナイト信ジマス、ドノヤウナ商業ヲ致スニモ、ドノヤウナ金儲ヲシヤウト思フニモ、凡ソ世ノ中ニ看板ヲ出サレテ、此看板通世ノ中ノ經濟ガ動イテ往クト云フコトヲ第一ノ目途ニシ、其目途ニ基イテ、是カラ金ノ融通ト云フモノガ世ノ中ニドウ云フ勵ヲスルト云フコトヲ第一ニ銘々ノ心ノ中ニ置イテ、其精神ニ基イテ商業ヲスルノデモ、總テノ金儲ヲスルノデモ、安心ヲ付ケテ往カナケレバナラヌト信ジマスル、不安心デ先キノ分ヲ又ト云フ程、商業上ニ恐ロシイ害ヲ爲スコトハナイ、商業不振ノ原因ナル最モ大ナルモノハ、不安心ト云フコトデアラウト信ジマスル、然ルニ此政府ガ三十年度ニ於テ、表ノ看板ハドノヤウナモノヲ掲ゲテ居ルカト云フト、六千万以上ノ金額ヲ、一般ノ公債トシテ、募集スルト云フ看板ヲ掲ゲテ居ルノデアリマス、而シテ此金額ト云フモノハ、吾々ノ考ヘマスル所ニ依リカスルモ、又世ノ中ノ一般ノ人ニ聞キマスルモ、斯ノ如キ巨額ノ半分モ市場カラ募ルコトハ六ヶ敷イト云フコトハ、殆ド疑モナキ所ノ一般ノ定論デアルト云フテモ宜カラウト信ズルノデアリマス、又政府ニ於テモ如何ナル見込デ、如何ナル企アルカハ分ラヌケレドモ、免ニ角此全部ト云フモノハ、市場カラ募ラレ得ベキモノデアナイト云フコトダケハ、略々見込ニ出ニナルモノト見エテ、唯今ノ御答ニ依ッテモ其趣旨ハ明瞭ニナツテ居リマスル、此金額ガ市場カラ募ラレヌモノデアラナラバ、他ニ之ヲ求メナケレバナラヌ、

仕方ヲ行フノデアラナラバ、其區分ヲ立テ、其様ニ表示セラル、ノガ宜シイノデアリマス、斯ノ如キ豫算ニハ、絶對ノ反對ヲ唱ヘルノデアリマスケレドモ、今日ハ既ニ歳出ノ部ニ於テ、總テガ決定致シテ居ル今日デアリマスカラ、此豫算第七款ニ對シテ絶對ノ反對ヲ致シテ、之ヲ全部廢滅ニ歸セシムルト云フコトニ、ナリハ致シマスマイケレドモ、若シナクナラバ甚ダ不揃ノモノガ出來マスカラ、私ハ全廢論ハ唱ヘマセヌ、宜シク政府ハ之ヲ修正シテ其行フ通ノモノヲ明カニ示シテ、豫算案トシテ提出セラレシコトヲ動議トシテ此處ニ提出致スノデアリマス、全部否決デハアリマセヌ、此豫算ヲ一時政府ニ戻シテ、臨時歳入第七款ヲ修正セシムルト云フコトノ動議トシテ之ヲ提出致シマス

○議長(鳩山和夫君) 政府委員田尻稻次郎君

(政府委員大藏次官法學博士岡田尻稻次郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(男爵田尻稻次郎君) 唯今鈴木君カラ修正説ト云フヤウナコトガ出マシメタガ、是ハドウモ不思議ノ説デアアルノデアリマス、一體此公債ノ募集方法ト云フモノハ種々アルノデアリマス、普通ノ方法デアツテ、市場ニヤルト云フコトモアリマシ、既ニ整理公債條例ノ第七條ノ二項ニモ、特別發行ト云フノモアルノデス、ソレカラ又或ル基金ヲ以テ應ズルト云フコトモアルノデアツテ、是ハドウモ公債ノ募集ノ方法ト云フモノヲバ、一ツミ、何ト云フモノニ、豫算ニ是ハ斯ウ云フ方法ヲ募集スルモノダ、是ハ斯ウ云フ方法ニ募集スルモノダト云ツテ、豫算ニ掲ゲタモノデハナイノデス、豫算ニハドウシテモ公債募集ト云フヨリ書キヤウガナイ、ソレバ此處ニ是ハ斯ウミシメタ方法ヲ募集スル、斯ウミシメタ方法ヲ掲ゲルト云フコトハ、誰ガドウシタ所ガ、ソレナコトハ出來ナイ、ソレデハモウ修正スルモ方法モ何モナイ、表裏ガアルトカ、何トカ仰ツシヤルケレドモ、表裏モ何モナイ、公債ヲ募集スルノデス、人民ガ應ジタリ、或ル基金ガ應ジタリスルノデアツテ、決シテ表裏ノアルモノデハナイ、又人ヲ欺クモノデハナイ、ソレデ此處デ公言シテ、是ダケ募レヌケレバ償金特別會計法ト云フモノガアリマスカラ、其基金ト云フモノガアリマスカラ、御安心ナサレテ下サレト云フタ譯デゴザイマスカラ、左様ナコトハ決シテ出來マセヌカラシテ、是ハ此通デドウカ可決シテ下サラヌト、如何トモ仕様ガアリマセヌ

○岡田良一郎君(百六十番) 私ハ今少シ政府委員ニ質問ガアル、一月二十三日ノ日本銀行ノ營業報告ヲ見マスルト云フト政府ハ預ケ金トカ預リ金トカ云フモノガ、一億三千六百萬圓アリマシ、一億三千六百萬圓ヲ日本銀行ヘ預ケテアル金ハ、是ハ償金ハ此中ニ少シモ這入ッテ居リマセヌカ、ドウ云フ勘定デアリマスカ、ソレヲ承リタイ

(政府委員大藏省主計局長松尾臣善君演壇ニ登ル)

○政府委員(松尾臣善君) 日本銀行ヘ預ケテアリマス其金ハ倫敦デ受取りマシタ磅デ、ソレヲ其中デハ追ヒコチラヘ取寄セツ、アリ、又倫敦ニ持ッテ居ルモノノゴザイマス其金額デゴザイマス、専ラ……

○岡田良一郎君(百六十番) ソレデ其金額ガ、倫敦デ預ケテ置イタ金ガ幾ラ、現在取寄セタ金ガ何程アル

○政府委員(松尾臣善君) ソレハ一寸御待チ下サイ——御手許ヘ持ッテ御出ナサル計算ハイツノデゴザイマスルカ知ラヌガ、私ノ手許ニ調ベテ持ッテ居リ

マスガ、此議會ノ始ニ調ベタノデアリマス

○岡田良一郎君(百六十番) 一月二十三日ノ報告デアリマス

○政府委員(松尾臣善君) 其報告ニ一寸合ッタノハ茲ニゴザイマセヌ、詰リ斯ウ云フ譯ニナツテ居リマス、倫敦デ受取りマシタノガ、英吉利ノ貨幣ニシマシテ、高ガ二千二百四十九万六千四百五十五磅餘デゴザイマス、ソレヲ倫敦デ清國政府カラ受取りマシテ、ソレヲ日本銀行ニ預入レマシタ、ソレカラ其中ヲ既ニコチラヘ取寄セル手續ヲ済ンデ居リマス分ガ、英貨デ一千八十一万八百四十三磅、是ガコチラヘ取寄セル手續ガ済ンデ居ルノデ、既ニコチラニ著シタモノモアリマシ、マダ船ノ中ニアルモノモゴザイマスガ、詰リソレダケハ取寄セル手續ガ済ンデ居ル、其残りノ一千六百六十八万五千二百一磅、是ハマダ倫敦ニ殘ッテ居リマス、ソコデ何万何千圓トカ言ヒマスノハ、ソレハ相場ヲ以テ日本ノ通貨ニ換算シタ高ナノデアリマス

○岡田良一郎君(百六十番) ソレデ金貨ニナツテ居リマス分ハ、預ケテ置キマシタ所ガ其儘ノモノデゴザイマスカ、爲替デコチラヘ取寄セニナツタモノハゴザイマセヌカ

○政府委員(松尾臣善君) 爲替デ其中取寄セマシタモノハ、五百七十七千磅、ソレ丈爲替デコチラヘ取寄セマシタ

○岡田良一郎君(百六十番) 其金ハドウナツテ居リマス、此預ケ金ノ中ニ這入ッテ居リマスカ

○政府委員(松尾臣善君) ソレハ皆ソレノ外ノ會計部ヘ繰入レマシテゴザイマス

○岡田良一郎君(百六十番) サウシマスルト、一億三千六百萬圓ト云フ大部分ハ……

○政府委員(松尾臣善君) 重ニ英貨デゴザイマス

○岡田良一郎君(百六十番) 英貨デ凡ソ幾ラ……

○政府委員(松尾臣善君) 其二十三日ノ計表ヲ茲ニ持ッテ居リマセヌカラ、ソレニ合フヤウナ御話ハ出來マセヌガ、詰リ今申シマシタ通ニ一千八十一万磅餘ハ取寄セル手續ハ済ンデ居ルモノデス、ソレカラ残り一千六百六十八万磅程ハ倫敦ニ英吉利貨幣殘ッテ居リマス

○岡田良一郎君(百六十番) 一億三千六百萬圓ノ中紙幣デ預ケ居ル分ハナイノデアリマスカ

○政府委員(松尾臣善君) 紙幣デ預ケタ分ハ此中ニゴザイマセヌ、コチラニ來マシテ紙幣ニナリマスルト、直グニ外ノ會計部ヘ繰入レネバナラヌ義務ノ附イテ居ル金デアリマスカラ、皆ソレノ其部ニ繰入レテゴザイマス、紙幣ノ預ケハゴザイマセヌ、此中ニハ……

○議長(鳩山和夫君) 鈴木君ノ動議ニ賛成ガアリマスカ——賛成ガアリマセヌカラ議題トナリマセヌ、第七款、第八款ハ原案通決定シタモノト見テ宜シウゴザイマスカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(鳩山和夫君) 原案ノ通決定シマシタ、第九款、第一項、是ニハ委員會ノ修正ガアリマス、修正ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者 少數

○議長(鳩山和夫君) 少數ト認メマス、原案ノ通決定シタモノト見テ宜シウ

ゴザイマスカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(鳩山和夫君) 原案ニ決定致シマス、從テ第九款ノ親高モ元ノ通ニナリマスカラ其通り御承知ヲ願ヒマス、ソレカラ總計ノ所デ、歳入臨時部ノ合計、竝ニ歳入經常部ノ合計、ソレカラ歳入總計共ニ多少議決ノ結果變動ヲ生ジマスカラ、ソレハ議長ニ於テ計算ヲシテ所ノモノヲ以テ諸君ノ議決ト認メマスガ、宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(鳩山和夫君) 其通ニ取計ヒマス——乙號竝ニ丙號合セテ皆議題ト爲シマス

○目黒貞治君(百九十八番) 乙號ハ全部議題ニ付サレタノデスカ

○議長(鳩山和夫君) 左様デゴザイマス、乙號、丙號共ニ……

○目黒貞治君(百九十八番) 發議ハ乙號、丙號トモ孰モ自由デアリマスカ

○議長(鳩山和夫君) 左様デス

○目黒貞治君(百九十八番) 登壇致シマス

〔目黒貞治君演壇ニ登ル〕

○目黒貞治君(百九十八番) 諸君、私ハ大體ハ本案ニ賛成デアリマスルケレドモ、一ノ希望ヲ述ベテ賛成ヲ致シテ置キタイト思ヒマス、ソレハナンデアルカト云フ時ニ、此乙號ノ第二十七、北海道鐵道敷設費ノ項デアリマスル、諸君モ御承知ノ如ク、政府ノ鐵道計畫ニ至ツテハ、北海道ハ第一期第二期ト斯ウ分ツテ居リマスル、而シテ此第一期第二期ニ分ツテ居ル所ノ鐵道線路ノ哩數ハドノ位デアルカト云フ時ニ、今回ニ提出サレマシタ所ノ第一期ト云フモノハ、五百六十二哩デアリマス、ソレカラ第二期ニナツテ居ル所ノモノハ四百四十二哩デ、之ヲ合スル時ニアツテ千四哩ニナリマス、此總哩數ノ中、今回提出ニナツテ居ル所ノモノハ五百六十二哩、即チ北海道ニ鐵道ヲ敷設シヤウト云フ所ノモノハ殆ド半バヨリ提出ニナツテ居リマセ、而シテ此半バニ當ルダケノ此哩數ノモノハ敷設ノ竣效期ハ、何時迄掛リマスルカト云フ時ニアツテハ、即チ明治三十年度ヨリ向フ十二箇年ニナツテ居リマス、此十二箇年掛ツテ第一期線路ヲ竣效ノ後ニ、第二期ノ方ニ著手シヤウト云フハ政府ノ計畫デアリマス、然ルニ諸君、北海道ハ如何ナルモノカト云フ時ニハ、拓殖ノコト、又國防上ニ就イテモ、此北海道ニ對スルコトハ、成ルベク急速ニ又急速ヲ希望スルガタメニ、是ニ伴フ所ノ文明ノ利器ト云フモノハ、成ルベク速ニ備ヘヌケレバナラヌコトデアリマス、而シテ北海道ト云フモノハ、ドレダケノ面積ヲ持ツテ居ルカト云フ時ニハ、即チ東北六縣ニ新瀉縣ヲ合セタル程ノ面積デアリマス、又開墾スベキ所ノ地所山林等ニ至ツテモ、殆ンド全國今日開田ニナツテ居ル半バ以上ノ地デアルト云フコトハ、諸君モ十分御承知ノ通デアアル、又國防上ノコトニ至ツテモ、最モ急ニ最モ速ニアスコニ計畫ヲシナケレバナラヌト云フコトヲ諸君ハ御承知デアリマス、斯ノ如ク拓殖ト云ヒ、國防上ト云ヒ、最モ急ヲ要シテ居ル所ノ北海道ニ對シテ、政府ガ今日計畫シテ居ル所ノ半バノ鐵道ヲ敷設スルニ十二箇年掛ルト云フコトハ、隨分長イコトデアリマセヌカ、斯ノ如ク政府ガ氣長ナル計畫ヲ爲ス時ニアツテハ、此鐵道ノ事バカリモ是ニ依ツテ推測ルトキニハ、殘ル五百哩ト

(111)

云フモノモ亦十二箇年掛ラナケレバナラヌ、鐵道ヲ敷クバカリデ二十四箇年掛ラナケレバ出來ヌト云フコトニ至ラウト思フ、誠ニ斯ノ如ク政府ガ氣長ナル計畫デアアル、然ルニ吾々ノ望ム所ノモノハ如何デアルカト云フ時ニアツテ、彼ノ北海道ナルモノハ、前ニモ述ベマスル如ク、國防上カラ言フ時ニアツテハ、北門ノ鎖鑰デアアル、又事業上カラ言フ時ニアツテハ、實ニ日本ノ寶庫デアアル、早ク彼ノ寶庫ノ錠ヲ解イテ、以テ彼ノ水陸ノ物産ヲ世ノ中ニ輸出シ、國益ヲ圖ルト云フコトハ最モ急デアアル、ソコデゴザイマスルニ依ツテ、本員ハ此十二箇年ト云フ計畫ヲ縮メテ以テ六箇年ヲ第一期ノ鐵道ハ終ルヤウニ、此第十一ノ議會マデ政府ガ計畫シテ出スコトヲ希望スル、尙ホ其計畫ヲ出スコトキニ當ツテ北海道鐵道ノ全體ヲ計畫シテ提出サレンコトヲ併セテ望ンデ置キマス、而シテ此北海道鐵道ノ全部竣效期ト云フモノハ、十二箇年乃至十五箇年内ニハ必ズ之ヲ悉ク敷設シテ仕舞フト云フ政府ガ希望ヲ以テ計畫ヲ爲シ、唯今吾々協賛シテ置ク所ノ此十二箇年ノモノハ、即チ前述ベマスル如ク、六箇年間ニ計畫ヲ仕直シテ、第十一ノ議會ニ提出スルコトヲ希望致シマス、諸君、吾々ガ北海道ニ對スル希望ハ、前ニ述ベル如クノ希望デアルコトダンニ依ツテ是マデ内務省ノ一部、縣治局ノ一部ニ於テ、北海道ノコトヲ扱ツテ居ツタケレドモ、是デハ北海道ニ對スル事業其他ノ成績ヲ見ルコトガ能ハヌ故ニ、拓殖務省ト云フモノヲ昨年設ケラレタノデアアル、此拓殖務省ハ今日ニアツテハ臺灣ト北海道ト雙方合セテ持ツテ居リマス、臺灣ト云フ方ハ總督府ト云フモノガアリマスル上ハ、拓殖務省ハツレ程急ニ必要ハ認メマセヌケレドモ、北海道ト云フモノニ最モ急ナルコトガアルコトダニ依ツテ、此拓殖務省ヲ置イタルノデアアル、然ルニ此拓殖務省ヲ置イタル以來ノ仕事ハ、本年提出シタル所ノ政府ノ計畫ヲ見ル時ニアツテハ、拓殖務省ヲ置イカナイ時ト敢テ變ツタ計畫ハナイ、一向拓殖務省ヲ置イテ、北海道ノ事業ヲ進メヤウト云フ所ノ計畫ハ、事實ノ上ニ一向見エヌノデアアル、是ニハ種種ノ事情モアルカ知レマセヌケレドモ、私ガ前ニ述ベル如ク、吾々國民ガ北海道ノ拓殖、國防ノコトハ、成ルベク速ニ、成ルベク進ンデ仕事ヲ爲シ、其完成ヲ見ルコトヲ希望スルノデアリマスルコトダニ依ツテ、政府ガ此希望ヲ容レラレテ、以テ此第一期ノ議會迄ニハ十分ノ計畫ヲ爲シテ北海道ニ對スル事業其他ノ事モ、今一層進ンダモノヲ提出セラレンコトヲ併セテ希望致シテ置キマス

〔採決々々ト呼フ者アリ〕

○議長(鳩山和夫君) 乙號第一ヨリ十マデハ前ニ修正ガアリマセヌカラ、原案通決定シタモノト認メテ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(鳩山和夫君) 原案通り決定致シマシタ、第十一ニハ委員會ノ修正ガゴザリマス、其修正ハ矢張海軍省臨時部第七款ノ修正ノ結果デアリマスガ、念ノタメニ申シテ置キマス、修正案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者 多數

○議長(鳩山和夫君) 多數ト認メマス、ソレカラ其後ト乙號ノ終リ、竝ニ丙號ニ於キマシテ修正ノ箇條ガゴザイマセヌカ、總テ原案ニ決定シタモノト見テ宜シウゴザリマスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(鳩山和夫君) 原案通り決定致シマス、一寸御諮り致スコトガアルノ  
デゴザイマスガ、歳入臨時部第九款デゴザリマスガ、是ハ委員會ノ修正ガア  
リマシテ、決ヲ採リマシタ所ガ、少數ノヤウニ見エマシタカラ、少數ト報道  
致シマシタガ、是ハ海軍省ノ部ニ於テ百二十一萬圓減額ヲ致シマシタ、其結  
果ノヤウニ見エルノデゴザイマス、此修正案ガ成立シマセヌト、首尾合ハナ  
イヤウナコトニナルヤウニ考ヘマス、衆議院規則ニハ再議ト云フ簡條ハゴザ  
イマセヌケレドモ、諸君ニ於テ御異議ガナケレバ、斯様ナ場合ニ際リ再議  
テモ差支ナイト考ヘル

〔異議ナシ〕ノ聲起ル

○議長(鳩山和夫君) 然ラバ再議スルコトニ致シマス、サウシテ直チニ採決  
ヲ致シマスガ、委員説ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者 多數

○議長(鳩山和夫君) 多數ト認メマス、ツレデハ豫算ト云フ處ニ戻ツテ議題  
トシマス、三十七頁デゴザリマス、豫算第一條ノ金額ハ各部ニ於ケル修正ノ  
結果トシマシテ、多少變動ヲ生ズル譯デゴザイマスガ、是ハ議長ニ於テ計算シ  
タ其結果ヲ以テ、諸君ノ議決ト認メテ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(鳩山和夫君) ツレデハ其通り決定致シマシタ、二條以下御異議ガゴ  
ザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(鳩山和夫君) 御異議ガナケレバ、原案ノ通り決定シタモノト認メマ  
ス、總豫算ハ總テ確定シタモノト見テ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(鳩山和夫君) 確定致シマシタ

○濱田儀一郎君(二百二十一番) 緊急動議ガアリマス

○議長(鳩山和夫君) モウ暫ク御待チ下サイ、今度議題ト爲シマスノハ、明  
治三十年度各特別會計歳入歳出總豫算全部ヲ議題ト爲シマス、是ハ十一頁ノ  
特別資金ノ處ニ修正ガゴザイマス、此修正モ矢張海軍省臨時部第七款ノ修正  
ノ結果デゴザリマスカラ、御注意マデニ申上ゲマス、便宜ノタメニ修正ノア  
ル部分ダケヲ先キニ決ヲ採ラウト思ヒマスガ、御異議ガゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(鳩山和夫君) 然ラバ此特別資金ノ部ニ於テ、歳出ノ所ニ修正ガアリ  
マスガ、修正ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者 多數

○議長(鳩山和夫君) 多數ト認メマス、此唯今ノ採決シタ他ノ部分ニ於テ  
ハ、別ニ修正ガゴザリマセヌガ、御異議ガゴザリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(鳩山和夫君) 御異議ガナケレバ、原案ノ通り決定シタモノト認メマ  
ス、其次ハ豫算外國庫ノ負擔額ヲ爲スラ要スルモノ、全部ヲ通  
ジテ議題ト爲シマス、其中ノ修正ハ外務省所管ノ部ニ於テ、墨西哥伯刺西爾  
公使館ノ費用ヲ委員會ニ於テ削減シタ結果、委員會ノ修正ガアルノデゴザ

リマスガ、本會ニ於テ原案ノ通外務省所管ガ決定シマシタ以上ハ、此部分ニ  
於ケル修正案モ否決セラレルノガ相當ナ結果ト思ヒマスカラ、御注意マデニ  
申上ゲテ置キマス——然ラバ總テ原案ニ御異議ゴザリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(鳩山和夫君) 原案ノ通決定致シマシタ——濱田儀一郎君

○濱田儀一郎君(二百二十一番) 緊急動議ガゴザリマス、過日吾々特別委員  
ニ選マレマシタ所ノ鐵道公債及事業公債利子支拂期改正法律案デゴザリマ  
ス、本案ハ其實施ノ準備ヲ急ギマス故、一日モ早ク其決議ヲ望ミマス譯デゴ  
ザリマス、因テ今茲ニ議事日程ヲ變更シマシテ、茲ニ議會ニ報告シテ議決ヲ  
望ミマス譯デゴザリマス、因テ緊急動議トシテ、茲ニ日程變更ヲ望ミマス譯  
デアリマス

○議長(鳩山和夫君) 唯今委員長カラ報告ニナリマシタ件ハ、政府カラモ緊  
急動議トシテ決議アリタキ旨要求ガアリマス、御異議ガナケレバ緊急動議ト  
シテ日程變更ヲ致シタイト考ヘマス——議案ヲ朗讀セシメマス

鐵道公債及事業公債利子支拂期改正法律案 第一讀會ノ續

〔町田書記官朗讀〕

明治二十五年法律第四號鐵道敷設法明治二十九年法律第五十九號事業公債  
條例及明治二十九年法律第九十三號北海道鐵道敷設法ニ依ル公債ノ利子ハ  
毎年三月九月ニ於テ支拂フモノトス

○議長(鳩山和夫君) 濱田儀一郎君御報告ニナリマスカ

○濱田儀一郎君(二百二十一番) ハイ、簡單ナ事柄デアリマスカラ是カラ述  
ベマス

○議長(鳩山和夫君) 宜シウゴザイマス

○濱田儀一郎君(二百二十一番) 本案ハ二月十五日ニ委員會ヲ開キマシテ、  
委員長ニ拙者、理事ニ市島謙吉君ガ選バレマシタ、尙ホ續イテ本日モ委員會  
ヲ開キマシタコトデゴザリマス、然ル所本案ハ實地適當ノ案ト認メマシテ、  
滿場一致ヲ以テ原案通可決シマシタ譯デアリマス、是ハ政府ニ於テ準備ノ  
都合モアリマセウシ、實行ヲ一日モ早ク望ミマス譯デアリマスルカラ、本  
會ニ於キマシテ可決アラシムコトヲ望ミマス、且ツ議會ヲ省略シマシテ議決ア  
ランコトヲ本員ハ希望アラシムコトヲ望ミマス、此段報告シマス

〔贊成々々〕ノ聲起ル

○議長(鳩山和夫君) 御異議ガナケレバ議會ヲ省略シタイト思ヒマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(鳩山和夫君) ツレデハ議會ヲ省略シテ直チニ採決シマス、本案ヲ以  
テ確定議トスルニ同意ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者 多數

○議長(鳩山和夫君) 多數ト認メマス——確定致シマシタ——本日ノ日程第  
二ニ移リマス、明治二十九年法律第九十二號中改正法律案

第二 明治二十九年法律第九十二號中 第一讀會ノ續 (特別委員) 改正法律案(政府提出)

○菊池九郎君(百四十三番) 特別委員會ノ報告ヲ致シマス  
議長(鳩山和夫君) 百四十三番

(菊池九郎君演壇ニ登ル)

○菊池九郎君(百四十三番) 明治二十九年法律第九十二號中改正法律案、此特別委員會ノ經過及結果ヲ御報告致シマス、此案ハ極ク簡單ナル故ニ、去ル十五日十七日ト二回ノ開會ヲ決議致シタリマス、此法律ハ御承知ノ通、昨年即チ第九議會ノ閉會ノ間際ニ通過致シマシタ法律案デ、臺灣ニ會計檢査院ノ支廳ヲ置クト云フ議案デアツタノゴザイマス、然ルニ其爾來支廳ヲ設置スルニ就イテ段々調査ヲ致シマシタ所ガ、臺地附近ニ官舎ニ充ツベキ適當ナル家屋ニ乏シク、已ムヲ得ズ一旦ハ新築ノコトニ決シマシテゴザイマス、當時所在官廳ノ工事一時ニ幅濶シ、技師職工ノ不足ヲ告ゲ、著手ノ運ビニ至リマセヌデ、又加フルニ近來材木諸物價騰貴致シマシテ、數十萬圓ヲ要スルヲ以テ、目下財政ノ現狀容易ニ許サヌノデ、荏苒今日ニ至ツタト云フコトデゴザイマシテ、已ムヲ得ズ、今回此改正案ヲ出シテ本廳ニ於テ檢査スルコトニ致シタト申スコトデゴザイマスカラ、先ヅ目下ノ急ニ應ズルノ手續トシテハ至當ノコトデアアルト認メマシテ、委員會ニ於テハ可決致シタノデゴザイマス、是ダケ……

○吉本榮吉君(二百五十六番) 是モ委員長ノ報告ヲ待タズ、既ニ理由書ヲ分ッテ居ル程ナ簡單ナ案デゴザイマスカラ、矢張議會ヲ省略シテ直チニ確定セラレンコトヲ希望致シマス

(贊成々々)ノ聲起ル

○議長(鳩山和夫君) 御異議ガナケレバ議會ヲ省略シテ採決シヤウト思ヒマス

(贊成々々)ノ聲起ル

○議長(鳩山和夫君) 議會ヲ省略シテ採決致シマス、此案ヲ以テ確定議ト致スコトニ同意ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者 多數

○議長(鳩山和夫君) 多數ト認メマス、デ此案ハ確定致シマス—— 議事日程 第三

第三 鹿兒島縣管下大隅國大島郡及薩摩國川邊郡各島地租徵收期限法 第一讀會ノ續 (特別委員) 律案(政府提出)

(湯本義憲君演壇ニ登ル)

○湯本義憲君(十九番) 諸君、委員會ノ經過ヲ御報告致シマス、鹿兒島縣管下大隅國大島郡及薩摩國川邊郡各島地租徵收期限法律案ノ委員會ヲ開キマシテ、審查ヲ致シマシテゴザイマス、此法律案ニ於キマシテ大島郡及其川邊郡各島ト云フ所ニ於キマス、此說明書ニモ詳クゴザイマス、如ク、内地ト其趣ヲ異ニ致シマシテ、現行法第一期ヨリ第六期ニ至ル所ノ期限ヲ、是ニ當符メマスルコトニ餘程困難ヲ致シテ居リマス、如何

トナレバ、大島郡ニ於キマシテハ、製糖ノ業ヲ以テ僅ナ生活ヲ營ンデ居ル、其製糖ノ金ヲ得ル月ト云フモノガ凡ソ其三四月頃ニ金ヲ得ル、而シテ此五月三十日ニ至ルテ徵收ヲスルト云フコトガ、是マデノ現行法ニ於キマシテモ、事實已ムヲ得ズ五月末デナケレバ其徵收ヲセヌト云フ位デ、現行法デモ實施スルノニ餘程困難ヲ致シテ居ルト云フ所ノ有様デアアル、又川邊郡ノニ方於キマス、毎年七八月ノ候ニアラザレバ航海ヲ致シマスルコトガ出來マセヌサウデゴザイマス、故ニ此内地ト同一ナル所ノ地租徵收期限ニ於キマス、殆ド其人民ノ困難ノミナラズ、徵收ヲ致シマスルコトモ、航海ガ出來マセヌ位デゴザイマスカラ、差支ヲ生ズル、其地租ノ額ヲ質シテ見マスルト、大島郡ノ方ニ於キマシテ、田、畑、宅地其他等ノ地租僅カ四萬四十圓、川邊郡ニ於キマシテ、僅ニ四十二圓ノ地租デゴザイマス、斯ノ如キ故ニ政府案ノ如ク同意ヲ表スルコトガ當然ト認メマシテゴザイマス、從ッテ此修正ヲ致シマシタ所ニ、島名ヲ皆掲ゲテゴザイマス、大島郡ノ内大島、徳ノ島沖永良部島、喜界島、與論島、是ガ大島郡ニ加ヘマシタ、ソレカラ川邊郡ニ島名ヲ十島加ヘマシタ所ノ理由ハ、昨年第九議會ニ於キマシテ川邊郡ガ大島郡ニ合併スルコトニ相成ッテ居リマス、是ガ其施行期限ガ三十年四月一日ヨリ施行致シマスルコトニナツテ居リマス、サウ致シテ見マスルト、今日規定ヲ致シテ置キマスルト、又四月以降施行致シマスルト、差支ヲ生ズル、川邊郡ト云フ郡名ガナクナツテ仕舞ヒマス、故ニ此川邊郡ニ島名ヲ此處ニ掲ゲテ置キマセヌト、大島郡ト云フ郡名ヲ變更シテ仕舞ヒマス、前ノ五月一日ヨリ三十日マデト云フ方ニ這入ルト云フ結果ヲ見マスルガタメニ、之ヲ二ツニ島名ヲ掲ゲマシテ修正ヲ致シマシタノデゴザイマス、斯ノ如キ理由デゴザイマスカラ、修正ノ意見通本會ハ可決アラント切ニ希望仕リマス

(政府委員主稅局長目賀田種太郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(目賀田種太郎君) 御答致シマスガ、他ノ同様ノ離島ニハ未タ地租條例ガ執行ニナツテ居リマセヌ故ニ、必要ハゴザイマセヌ

○田中島雄君(二百九番) 尙ホ伺ヒマス、此二箇所ノ如キ不便ノ處ハ他ニハナイノデス

○政府委員(目賀田種太郎君) ソレハ例ヲ舉ゲマスレバ、例ヘバ此羽後國ニ飛鳥杯ト云フ處ガゴザイマス、是ハ隨分浪モ荒イ様ナ處デゴザイマスガ、既ニ地租改正ニモナリマシテ、今日ノ所デハ通船ノ便モ開ケテ居リマス、市町村制モ實施ニナツテ居リマス、此大島トハ事情ヲ異ニシテ不便ト云フコトハナイ、其他ハ未タ地租ノ改正ニナツテ居リマセヌ

○田中島雄君(二百九番) 東京府管轄ノ八丈島ナドハ



○政府委員(自賀田種太郎君) 未ダ改正ニナツテ居リマセヌ、全ク二島ニ今日ハ限ル

○草刈親明君(百四十四番) 一寸政府委員ニ御尋シマス、此法律案ノ理由書ヲ見マスルト、丁度臺灣ニ關スル特別會計法案ト同一ノ趣意ナル、即チ是等ノ諸島ハ内地ト行政ヲ異ニスルト云フコト、ソレカラ其他生民ノ事情ガ違フテ居ツテ、サウシテ内地一般ト同シ租稅ヲ會計法第二條ニ規定スル場合ニ背クコトガ出來ナイ、丁度臺灣ノ特別會計ノ理由ト同一デアリマス、果シテ然ラバ何故ニ此法案ニ限ツテ、特別會計法案ト云フモノ、方ニ這入ラレナイデアリマスカ、臺灣ト同ク、矢張大島ニモ特別會計ヲ施行ニナツテ宜カラウト思ヒマスニ、サウデゴザイマセヌデ、此點ニ對シテノミ納期ヲ長クスルト云フ御考ハドウ云フ御考デゴザイマス

○政府委員(自賀田種太郎君) 本案ニ就キマシテ必要ト致シマスルハ、全ク地租ノ納期ノミデゴザイマス、其他ノコトハ別ニ關係致シマセヌ、從ツテ特別會計ノ制定ノ必要ハ見マセヌ

○議長(鳩山和夫君) 吉本君カラ讀會省略ノ動議ガ出テ居リマセヌガ

○議長(鳩山和夫君) 異議ガナケレバ讀會ヲ省略シテ採決致シマセウト思ヒマス

〔讀會省略ニ異議ナシト呼フ者アリ〕  
○議長(鳩山和夫君) サウスルト、讀會省略シテ採決致シマス、委員會ノ修正ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者 多數  
○議長(鳩山和夫君) 多數ト認メマス、次ハ議事日程第四カラ第十一マデハ併テ議題ト爲シテモ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕  
○議長(鳩山和夫君) 則チ第四ヨリ第十一マデヲ議題ト爲シマス

第四 明治二十八年年度豫備金支出ノ件(政府提出承諾ヲ求ムル件)

第五 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第六 明治二十八年年度ニ於テ國庫剩餘金ヲ以テ豫算超過及豫算外支出ノ件(政府提出承諾ヲ求ムル件)

第七 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第八 明治二十八年年度特別會計豫備金支出ノ件(政府提出承諾ヲ求ムル件)

第九 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第十 明治二十八年年度特別會計歳入及資金ヲ以テ豫算超過及豫算外支出ノ件(政府提出承諾ヲ求ムル件)

第十一 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○吉本榮吉君(二百五十六番) 第四、第六、第八、第十八固ヨリ異議モナイ、第五、第七、第九、第十一ノ委員ハ議長指名ノ委員ニ致シ、同一ノ委員ニ付託スルコトニ致シタイ

○議長(鳩山和夫君) 委員ノ數ハ九名デゴザイマスガ

○吉本榮吉君(二百五十六番) 規則ノ通則ニ議長ハ御尋ニ及ビマセヌ

○恆松隆慶君(二百七十二番) 今何號マデノ委員デゴザイマスカ

○議長(鳩山和夫君) 委員ニ付託スベキモノハ、第四、第六、第八、第十ノ議案デゴザイマス、其四案ヲ同一ノ議長指名ノ委員ニ付託スルコトニ就イテ異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(鳩山和夫君) 即チ吉本君ノ動議ノ通決定致シマシタ、次ハ第十二蠶種検査法案——農商務大臣榎本武揚君

第十二 蠶種検査法案(政府提出)

第一讀會

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス〕  
蠶種検査法

第一條 此ノ法律ニ於テ蠶種ト稱スルハ原種及製絲用種ノ越年スルモノヲ謂フ

第二條 原種ハ框製ニスヘシ

第三條 蠶種ハ左ニ掲クル蠶ヲ以テ之ヲ製造スルコトヲ得ス

一 二蠶以上合同シテ作りタル蠶

二 繭層片薄ナル繭若クハ形狀ヲ失スルコト著シキ繭

三 繭層薄弱ニシテ繭ノ全量百ニ對シ繭層ノ量七ニ達セサルモノ

第四條 蠶種ハ原種ヨリ產生シタル繭ヲ用井ルニアラサレハ之ヲ製造スルコトヲ得ス

第五條 蠶種製造者ハ收繭後及産卵後ノ二期ニ於テ原種ニ在リテハ繭蛾卵、製絲用種ニ在リテハ繭卵検査ヲ受クヘシ

第六條 此ノ法律施行ノ地方ニ於テ必要アリト認メタルトキハ地方長官ハ農商務大臣ノ認可ヲ經テ此ノ法律施行地以外ニ於テ製造シタル製絲用種ノ買受又ハ讓受ヲ認許スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ卵ノ検査ヲ受ケシムヘシ

第七條 第三條ニ掲ケタル繭ハ收繭後ノ検査ヲ經ルマテ之ヲ保存スヘシ

原種ノ掃殼蠶種ノ製造ニ供用シタル繭及原種ノ製造ニ供用シタル母蛾ハ産卵後ノ検査ヲ經ルマテ之ヲ保存スヘシ

第八條 此ノ法律施行ノ地方ニ於テハ検査合格ノ證印ナキ蠶種ヲ讓渡シ又ハ輸入スルコトヲ得ス

第九條 地方長官ハ蠶種検査員ヲシテ養蠶期中蠶種製造者ニ就キ掃立蠶量

ノ多寡生育ノ狀況及病蠶ノ有無ヲ觀察セシムルコトヲ得  
蠶種製造者ハ前項ノ觀察ヲ拒ムコトヲ得

第十條 蠶種検査員其ノ職務ヲ行フトキハ證書ヲ携帯スヘシ

第十一條 蠶種検査員ハ自己若クハ家族ノ製造スル蠶種ノ検査ヲナスコトヲ得ス

第十二條 蠶種検査ニ關スル費用ハ府縣ノ負擔トス但シ北海道廳及沖繩縣ニ於テハ國庫ノ負擔トス

第十三條 地方長官ハ土地ノ情況ニヨリ農商務大臣ノ認可ヲ經テ此ノ法律ヲ施行セサルコトヲ得

第十四條 此ノ法律中蠶種ノ製造及検査ニ關スル規定ハ自家用ノ蠶種ノミヲ製造スル者ニ適用セス

第十五條 第四條第五條第六條第二項及第八條ニ違背シタル者ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十六條 第七條ニ違背シタルモノハ二十圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十七條 第九條第二項ニ違背シタルモノハ五十圓以上一圓九十五圓以下ノ罰金ニ處ス

第十八條 學術研究ノ爲メ農商務大臣又ハ地方長官ノ承認ヲ得蠶種ヲ製造スル者及其ノ製造シタル蠶種ニハ本法ヲ適用セス

第十九條 検査方法及此ノ法律施行ニ關スル細則ハ農商務大臣之ヲ定ム

第二十條 此ノ法律ハ明治三十一年四月一日ヨリ施行ス但シ第二條及第四條ノ規定ハ此ノ法律施行後一箇年間之ヲ適用セス

第二十一條 明治十九年農商務省令第九號蠶種検査規則ハ本法施行ノ日ヨリ廢止ス

(農商務大臣子爵榎本武揚君演壇ニ登ル)

○農商務大臣(子爵榎本武揚君) 本案提出ノ理由ハ、既ニ理由書ニ其大要ヲ記載致シテゴザイマスルガ、右ヲ少々敷衍シマシテ一言致シマス、各位御承知ノ通、蠶種ハ我國重要ノ物産デアリマシテ、而シテ其業ハ逐年進歩ノ狀況ニアリマスルガ、此狀況ノ根源ヲ觀察シマスルト、品質ノ改良ヲ努メマセヌデ、只管産額ノ増加ノミヲ圖ルニ汲々ト致シ居リマスル者ガ大部分ヲ占メテ居リマスル故、却テ弊害ヲ助ケ長ズルノ傾ガアリマスル、而シテ此是ハ蠶種ニ於テ最モ然リト認メマスル、此種ニ於キマシテ、抑々蠶種ノ元ハ即チ糸デゴザイマス、糸ノ元ハ種ニアリマスル故、種ノ良否ハ繭ノ豊凶ト糸ノ良否ニ影響ヲ及シマスルハ論ヲ峻タザル所デアリマス、若シ蠶種ニシテ、即チ種ガ良クナキトキニハ、縱令氣候ガ適シ、又養ヒ方ノ法ガ全クトモ、決シテ好結果ヲ奏スルコトガ出來得マセヌノミナラズ、甚シキニ至リマシテハ、桑ノ葉ト養立ツタル量ヲ擧ゲテ鳥有ニ付スルニ至リマスルコトガアリマスル、抑々蠶ノ健カナルト然ラザルトハ、一ニ蠶病——蠶ノ病氣——蠶病ノ有無ニ基因スルモノデ、此蠶病ナルモノハ數多ノ種類モアリマスルガ、所謂遺傳病、傳染

病ノ甚シイノハ微粒子病ニ若クモハアリマセヌ、故ニ農商務省ハ曩ニ各種蠶病ノ試驗ニ著手シマシテ、其豫防ト殘滅ノ方法ヲ研究シマシタル末、是ガ遺傳ヲ絶ツコトハ最モ急務デ、一日モ忽忽ニ付スベカラザルト云フ所ヲ認メマシタカラ、明治十五年省令第九號ヲ以テ、蠶種検査規則ヲ行ハシメマシタニ、頗ル好キ成績ガアリマシタ、是ニ於テ各地方ノ蠶業家モ、亦蠶種ノ蠶病ノ恐ルベキコトヲ覺リマシテ、蠶種検査ノ必要ヲ感ズルト共ニ、良好ノ種紙ヲ——種ヲ選ムベキコトノ注意ヲ惹起シマシタ、サリナガラ通例製絲用——絲ヲ取りマス製絲用ノ種トシテ普通販賣シマスル所ノ蠶種ノ検査ニ於キマシテハ、經費ノ支出上ノ關係ト、多數ノ検査員ヲ得ルコトノ難キニ支ヘラレマシテ、是ガ實施ヲ延ベテ、ツイ遷延今日ニ至リマシタ、然ルニ蠶種検査ノ希望ハ一層其度ヲ高メマシテ、各縣ニ於キマシテハ、土地ノ狀況ト蠶業發達ノ程度等ヲ參酌シマシテ、縣令ヲ以テ蠶種検査ノ方法ヲ設ケ、原種用、製絲用、蠶種共ニツナガラ其検査ヲ實施致シマシタルモノガ、殆ド二十縣ノ多キニ及ンデ居リマスル、而シテ是等ノ諸縣ニ於キマシテハ、畜ニ微粒子病ノ検査ノミニ安ンゼズシテ、尙ホ進ンデ其製造ニ供スル種繭ノ検査——是ハ種デゴザイマセヌ、繭デゴザイマス、——種繭ノ検査カラ既成ノ蠶卵ニ及ブモノモ亦少ナクゴザリマセヌ、加之原種ハ梓製ニ限ルモノト致シ、又ハ原種ノ病毒歩合ヲ縮メテ、殆ド無病タラシメントスルナド、各地方期セズシテ検査ノ方針ヲ此點ニ定メ來リマシタ、故ニ自然農商務省第九號ノ検査法ニ満足致シマセヌコトニ達シマシタ、思フニ現行ノ規則ハ、微粒子病發見ノ當時、此病毒ノ蔓延ヲ豫防スルノ急ニ備ヘンガタメニ制定シタルモノデアリマシテ、此検査ハ既成ノ繭ノ種ニ就キマシテ、單ニ微粒子毒ノ多寡ヲ檢スルニ過ギマセナシタ故、從ツテ微粒子外ノ諸病ニ關シテ、彼ノカヨリキ冠弱ノ性質ヲ遺傳致シマスル如キ、是等ハ顯微鏡ニテ發見スルコトガ出來マセヌ故、各地方ニ種繭ノ検査ヲ實行シテ、虛弱質ノ遺傳ヲ絶チ、健全佳良ノ蠶種ヲ選ミ、ツレヲ繁殖シテ蠶業ノ利益ヲ享有セシムルノ必要ヲ認メマシテ、政府ハ當業者ノ意向ト、實際ノ狀況トヲ參酌シマシテ、我國重要ノ物産タル蠶糸ノ増進ヲ圖ランガタメニ、爰ニ本案ヲ提出致シマシテ諸君ノ御協贊ヲ求ムル譯デアリマス

○東尾平太郎君(八十八番) チョット質問シマスルガ、此法律ヲ施行シマス蠶種検査費ハ、何程ノ豫算デアリマスカ、第一ツレヲ承リタイ、第二ニハ第十二條ヲ見マスルト、北海道ト沖繩ト蠶種検査費ハ、國庫ノ負擔トスル、其他ノ府縣ノ検査費ハ、府縣ノ負擔ニナツテ居リマス、同ク此國家重要ノ蠶業ニ關スル費用ニシテ、何故ニ北海道ト沖繩トハ國庫ノ負擔ニナツテ、其他ハ府縣ノ負擔ニナツテ居リマスカ、其理由ヲ一寸承リタイ

○政府委員(藤田四郎君) 御答致シマスルガ、是ヲ地方デ以テ検査致シマシテ、全國ニ行ハセルト致シマシタラバ、凡ソ三十萬圓位ハ要ルト云フ覺悟ヲシナケレバナラヌト云フ考デ、併ナガラ此法律ハ全國ニ行ハレルモノト云フ考デハゴザイマセヌ、次ニ北海道ト沖繩縣ハ國庫負擔ト云フコトニ就イテノ御

尋デゴザイマスガ、御承知ノ通、北海道、沖繩等ニ於キマシテハ、府縣ニ係ル所ノ地方税ト云フモノハ、先ヅ殆ト無イト申シテ宜シイノデゴザイマス、既ニ他ノモノモ國庫ノ負擔トナツテ居リマスカラ、斯ウ云フ譯ニナリマシタノデ、併ナガラ農商務省ニ於テ見マシテハ、是ハ先ヅ行ハナイ積デ、北海道、沖繩ニ行ハヌ積デアリマス

○草刈親明君(百四十四番) 私モ十二條ニ就イテチヨット御尋致シマス、唯今東尾君ノ御問ニ御答ニナリマシタコトデ、各府縣ハ府縣ノ負擔トシテ、北海道及沖繩縣ハ國庫ノ負擔トスルト云フコトハ了承致シマシタデ、唯今ノヤウナ理由デゴザイマスレバ、臺灣ノコトニ就キマシテハ、ドウナサル積デアリマスカ、臺灣ハ臺北縣ハ臺北縣、臺南縣ハ臺南縣ノ負擔ニナルヤウニ思ハレル、此點ニ就イテハ政府ハドウ云フ意見デゴザイマスカ、承ツテ置キタイ、即チ北海道、沖繩ニハ検査法ヲ行ハナイ積デアル、故ニ國庫ノ負擔トナルト云フコトデアリマスレバ、臺灣ニ此検査法ヲ行フ、而シテ此費用ハ臺灣ノ各縣ヲシテ負擔セシムルト云フコトニ解釋セヌケレバナラヌ様ニ相成ルト思ヒマス、其點ニ就イテ御説明ヲ請ヒマス

○政府委員(藤田四郎君) 臺灣ノ府縣ハ此中ニ這入ツテ居リマセヌ  
○草刈親明君(百四十四番) ドウシテ這入ラヌト云フコトハ分ツテ居リマスカ、臺灣ハ日本デセウ、何處デ分リマセウ、例ヘバ此次ノ問題ニナツテ居リマスルモノ、如キハ、此法律ハ北海道ニ施行セヌトカ何トカ書イテアル様ニ、臺灣ガ此中ニ這入ツテ居ラヌケレバ居ラヌト云フコトヲ書カネバナラヌ、ソレヲ書カヌデ臺灣ガ此中ニ這入ラナイト云フ、ソレナ無責任ノ答辯ヲ致サレルノハ……

○政府委員(藤田四郎君) 臺灣ニ行ヒマスル時ハ、臺灣ハ總督令ナリ其他ノ法律令ヲ出シテ貰フ、唯當リ前ノ臺灣ノコトニ就キマシテハ、取除ケト云フコトハ一切這入ラナイコトニナツテ居リマス  
○東尾平太郎君(八十八番) 先ニ政府委員ノ答辯ヲ聽キマスレバ、北海道ト沖繩ニハ此法律ハ施行シナイト云フ、施行シナイ法律ヲ、ナゼ十二條ニ御書キニナリマシタカ、其邊ヲ承リタイ、施行セヌ法律ナラ、取除ケヲ設ケズ十二條ニ記載ヲシタト云フ理由ヲ承リタイ

○政府委員(藤田四郎君) 此法律ハ凡ソ今日ノ所ニ於キマシテハ、沖繩北海道ニハ行ハナイ見込デアリマスガ、他日若シ産業ノ發達ト共ニ、其必要ヲ認メマシタラ検査ヲ行フカモ知レマセヌ  
○東尾平太郎君(八十八番) 然レバ十二條ヲ御取除ケニナツタラドウデス

○松尾寛三君(二百五十七番) 私モ政府委員ニ御尋致シマス、東尾君ヨリノ質問ニ對シテ、全國ヲ通シテ検査ヲスルニ就イテ、國庫ノ負擔トスレバ、三十万圓以上ヲ要スルト云フ御話デアリマシタガ、矢張國庫ノ負擔トスレバ、三十万圓餘ヲ要シ、地方ノ負擔トスレバ尙ホ少クテ宜イト云フ御見込デアリマスカ、又此重要物産ニ對スル大事ヲ試驗法ヲ行フニ就キマシテ、其費

用ヲ地方ノ負擔ニシナケレバナラヌ、國庫ノ負擔トナスベキモノデナイト云フ御考ヘハ、何レノ點デゴザリマスカ、其邊ヲ詳ク御説明ヲ願ヒタイ、ソレカラ第二ハ、第十四條ニ家用ノモノハ一切此法律ヲ適用シナイトゴザリマスガ、若シ家用ニ致シマシテモ、澤山ノ製造ヲ致ス者ガゴザリマシタトキハ、是等モ矢張此法律ヲ適用シナイト云フ思召デゴザリマスガ、是ニハ或ハ施行細則ニ於テ制限デモ加ヘラレルノ御積リデゴザイマスカ、元々此検査法ヲ行フト云フノハ、今大臣ガ演說サレタ如ク、此重要物産ニ就イテ粗製ノ弊ヲ防ガウト云フコトデアラウト信ジマス、然ルニ家用ノタメニスルモノハ検査ヲ要シナイト云フコトニナリマシタラ、其製絲ハ悉ク粗惡ナモノガ出來ル弊ガ起ルト信ジマス、ソレ等ノ點ハ如何ノ御考デアリマスカ、此二點ヲ詳ク御説明ヲ煩ハシタイ

○政府委員(藤田四郎君) 第一ニ東尾君ノ御尋デゴザンヌガ、政府ニ於キマシテハ、此國庫ノ負擔ト云フコトヲ載セルト云フコトガ適當ト云フ考デ載セマシタガ、併シソレハ削ツタ方宜イト云フ御議論ナラ、ソレハ委員會ナドデ承リマシテモ宜シウゴザリマス、次ニ松尾君ノ御尋デゴザンヌガ、國庫ノ負擔云々ト云フコトデアラウツツガ、國庫ノ負擔トハ申シマセヌト云フテモ差支ハゴザンヌガ、言ヤアシマセヌ、唯之ヲ全國ニ行ツタラ、イクラ費用ガ要ルト云フ御尋デアリマシタカラ、全國デハ三十万圓要ルト云フ覺悟ヲシナケレバナラヌト云フコトヲ申シタノデ、其次ニ之ヲ國庫ノ負擔トスルトニ及バヌト云フ理由ヲ御尋ノヤウデアラウツツガ、是ハ元々全國ニ若シ政府ニ於テハ必シモ行ハナラヌト云フ考デハゴザンヌガ、且斯ノ如キモノニ就キマシテハ、寧ロ地方ノ費用ヲ以テ行フノガ當然デアラウツツガ、且ツ現ニ是マデモ地方費デヤツテ居ルノデゴザンヌカラ、加之國庫ニモ十分ノ經費ト云フモノモ、是等ニ就イテ別ニ考ヘナケレバナラヌト云フコトニナツテ、ソレガタメニ此案ガ早ク成立スルコトガ出來ナイコトガアツテモ困リマスカラ、ソレ等ノ點ヲ斟酌致シマシタ、ソレカラ次ニ家用ノ事ニ就イテ御尋デゴザンヌガ、家用ノコトニ就キマシテハ、或ハイクラ拵ヘマシテモ構ハヌ積デアアル、併ナガラ之ヲ他人ニ讓渡シタリ、賣ツタリスルコトハ出來ナイコトニナツテ居リマス、其害ガ及バヌト云フ考ヲ以チマシテ、家用ハ除キマシタ、且自家用マデ行ハウト云フコトニナツテハ經費モ少カラヌト云フ考ヲ以チマシテ、旁々斯様ニ致シタ譯デアラウツツガ

○草刈親明君(百四十四番) 此臺灣ノコトニ就イテハ、臺灣總督デアアルカラ其事デ斯ウ云フ法律ヲ拵ヘルデアラウト云フ様ナコトカラ、本案ニ臺灣ノコトヲ挿入シナイト云フ藤田君ノ御答ヲ拜承致シマシタ、想フニ藤田君ハ此法律ヲ起草サル、際ニ、臺灣ノコトハ頭ノ上ニ置カレナイ、忘レテアツタデアラウト思フテ居ツタ所ガ、忘レテ居ツタナラ委員會デアラウツツガ、總督ガスルカラ、此法案ニ掲ゲ

ト心得マスルニ、臺灣ハ臺灣總督ガアツテ、總督ガスルカラ、此法案ニ掲ゲタト云フ御答デアツタガ、臺灣總督ノ仕事ハ、自ラ其仕事ガ違ツテ居リマス、

○草刈親明君(百四十四番) 此臺灣ノコトニ就イテハ、臺灣總督デアアルカラ其事デ斯ウ云フ法律ヲ拵ヘルデアラウト云フ様ナコトカラ、本案ニ臺灣ノコトヲ挿入シナイト云フ藤田君ノ御答ヲ拜承致シマシタ、想フニ藤田君ハ此法律ヲ起草サル、際ニ、臺灣ノコトハ頭ノ上ニ置カレナイ、忘レテアツタデアラウト思フテ居ツタ所ガ、忘レテ居ツタナラ委員會デアラウツツガ、總督ガスルカラ、此法案ニ掲ゲ

ト心得マスルニ、臺灣ハ臺灣總督ガアツテ、總督ガスルカラ、此法案ニ掲ゲタト云フ御答デアツタガ、臺灣總督ノ仕事ハ、自ラ其仕事ガ違ツテ居リマス、

斯ウ云フコトハ矢張日本國內全般ニ行レルモノデアリマスカラ、臺灣ノコト  
 デモドウシテモ此所ニ記載シテ置カケレバナラヌ、ソレハ議論デアリマス  
 カラ申シマセヌ、又御問ヲ致シマスルノハ、臺灣ニ此法律ガ行レナイ、又臺  
 灣總督府ガ斯ウ云フ法律ヲ拵ヘマセヌト云フコトガアツタナラバ、折角政府  
 ガ此法律ニ依ッテ蠶種ヲ改良スルト云フ其希望ヲ全ウスルコトハ出來マイト  
 思フ、即チ臺灣人民ハ、自由勝手ニ不良ナル原種ニ依ッテ蠶種ヲ拵ヘ絲ヲ造  
 テ、サウシテ或ハ日本ノ内地ニ輸入スルコトガゴザリマシタラ、取締ノ法ガ  
 出來マイト思フ、斯ウ云フ場合ニ如何ナル方法ニ依ッテ御取締ニ相成ル譯合  
 デゴザリマスカ、勿論此法案ノ中ニ「此法律施行ノ地方ニ於テハ檢査合格ノ  
 證印ナキ蠶種ヲ讓渡シ又ハ輸入スルコトヲ得ス」トゴザリマスカラ、此法條  
 フ以テ取締ルト云フ通辭ヲ吐カレルカモ知ラヌガ、是ハ輸入サル、地方ノモ  
 ノヲ取締ルノデハナイ、故ニ讓渡スコトヲ禁ジテアツテモ、讓受ルコトハ  
 禁ジテナイ、サウスレバ臺灣ノ地方カラ——此法律ノ施行ニナラナイ臺灣ノ  
 地方カラ内地ノ方ニ不良ノ蠶種ヲ輸入シテ、ソレヲ内地ノ人民ニ讓渡シ、  
 サウシテ讓渡シタモノハ何ノ仔細モナイ、何トナレバ臺灣ニ此法律ガ施行ニ  
 ナツテ居ラナイ、讓受ケタモノハドウデアアルカト云フト、讓受ケタモノニ對  
 シテモ制裁ガナイカラ、是レ亦取締ルコトガ出來ナクナツテ仕舞フ、果シテ  
 左様デアレバ、折角此法案ヲ制定シテ原種ノ善良ヲ一定スルト云フ希望モ水  
 泡ニ屬シテ仕舞フ、此點ハドウ云フ御考カ、間違ッタラ間違イ、忘レタラ忘レ  
 タ、ソレニ依ッテ何モアナタガ此法案ニ就イテ説明ガ間違ッタカラト云ッ  
 テ、世間ノ信用ヲ失スル譯デアアルマイ、明ニ白狀シタ方ガ宜シイ

○政府委員(藤田四郎君) 簡單ニ御答ヲ致シマスガ、臺灣カラ輸入スルコト  
 ハ出來ナイコトニナツテ居リマス、此法律ヲ施行スル處ニ於テハ、臺灣カラ  
 輸入スルコトハ出來ナイ、是デ差支ナイノデアリマス

○東尾平太郎君(八十八番) 私ガ先キニ述べタコトニ就イテ、藤田政府委員  
 ガ此法律案ガ惡ルケレバ惡ルイデ、委員會デ質問スレバ宜シイ、苟且ニモ政府  
 ガ法律案ヲ提出シテ惡ルケレバ、委員會デ修正スレバ宜イ杯ト云フハ、無責任  
 ノ話デ、政府ガ法律案ヲ提出スルニハ責任ヲ持ッテ出シテ貰ヒタイ、惡ルイケ  
 レバ委員會デ修正スレバ宜イト云フ、サウ簡單ニハ參リマセヌ

○政府委員(藤田四郎君) 東尾君カラ御話デアリマシタガ、私ハサウ云フコ  
 トハ申シマセヌノデ則チ……

〔答辯無用〕ト呼フ者アリ

○議長(鳩山和夫君) モウ質問ハナイト思ヒマスカラ、議事日程ノ第十三ニ  
 移リマス

第十三 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

〔議長指名〕ト呼フ者アリ

○吉本榮吉君(二百五十六番) 九名トシテ議長ノ指名ニ致シマス

衆議院議事速記第十二號 明治三十年二月十八日 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○議長(鳩山和夫君) 委員ハ議長指名ニスルト云フ吉本君ノ動議ガアリマス  
 (異議ナシ) 異議ナシノ聲起ル)

○議長(鳩山和夫君) 吉本君ノ動議ニ決シマス、次ハ日程ノ第十四國有土地  
 森林原野下戻法案

第十四 國有土地森林原野下戻法案(政府提出) 第一讀會

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

國有土地森林原野下戻法案

第一條 現ニ國有ニ屬スル土地森林原野若ハ其ノ立木竹ニ付所有權又ハ分  
 收權ヲ有スヘキ證據ヲ有スル者ハ明治三十一年十二月三十一日迄ニ其ノ  
 權利ノ認定ヲ主務大臣ニ申請スルコトヲ得

第二條 前條ノ申請以前ニ於テ既ニ賣買、讓與、交換又ハ費消シタルモノ  
 ニ就テハ何等ノ名義ヲ以テスルニ拘ラス其ノ補償ヲ要求スルコトヲ得ス

第三條 此ノ法律ニ依リ所有權又ハ分收權ヲ認定シタル後五箇年以内ニ於  
 テ其ノ處分ノ錯誤ニ出テタルコトヲ發見シタルトキハ主務大臣ハ其ノ處  
 分ヲ取消スヘシ

第四條 此ノ法律ニ依リ主務大臣ノ爲シタル處分ニ不服アル者ハ行政裁判  
 所ニ出訴スルコトヲ得

第五條 第一條ニ掲ケタル事項ニ關シ此ノ法律施行以前ニ差出シタル願書  
 ハ此ノ法律ニ依リタル申請書ト看做ス

第六條 此ノ法律ハ北海道ニ施行セス

(農商務大臣子爵榎本武揚君演壇ニ登ル)

○農商務大臣(子爵榎本武揚君) 此法案提出ノ理由モ、矢張理由書ニ載セテ  
 ゴザリマシテ、先ヅ遺ス所ハナイ積デゴザイマスガ、先ヅ例ニ依リマシテ極ク  
 簡單ニ一言シマス、官有ノ土地、森林、原野及其地ニ生立ッテ居リマス立木竹  
 ノ下戻ハ、地租改正後ノ今日尙ホ出願ヲ絶チマセヌ、續々出願ガアリマス、然  
 シテ其出願期限モ際限ガ極ッテ居リマセヌ故ニ、國有財産ノ整理ト、營林事業  
 ノ計畫上ニ就キマシテ、最モ困難ヲ感ジテ居リマス故ニ、茲ニ下戻申請ノ  
 時効有効期限、時効ヲ設定スルノ必要ヲ認メ、又立木竹下戻ノ處分ニ對シマ  
 シテハ、現今殆ド之ヲ訴フルノ途ガゴザイマセヌ故ニ、土地森林ニ對スル處  
 分ト等シク、行政裁判所ヘ出訴シ得ルコト、致シマシタ、此二者ガ本案ヲ提  
 出致シマシタル所以デゴザイマス

○草刈親明君(百四十四番) 本案ノ第三條ニ就イテ御説明ヲ乞フテ置キタウ  
 ゴザイマス、第三條ノ「此法律ニ依リ所有權又ハ分收權ヲ認定シタル後五箇  
 年以内ニ於テ其處分ノ錯誤ニ出タルコトヲ發見シタルトキハ主務大臣ハ其處  
 分ヲ取消スヘシ」トゴザイマス、此ニ於テ伺ッテ置キタイノハ、例ヘバ五年  
 ノ間ニ分收權ナリ所有權ナリ回復シマシタ人民ガ、樹木ヲ植エ或ハ樹木ヲ伐  
 採スル、樹木ヲ大變ノ費用ヲ以テ植立テタ後、若クハ大變ニ樹木ノアルノ

國有土地森林原野下戻法案 第一讀會

一四五

賣拂ッタ後ニ、政府ガ其處分ノ誤謬ヲ發見シマシタ場合ニハ、其處分ハ固ヨリ取消シ得ルモノデアリマス、其處分ヲ取消シタ結果トシテ、人民ノ植立テタ所ノ樹木ノ價、植立テタ費用ノ如キハ如何ニナサル思召デアルカ、又或ハ人民ガ其期限内ニ伐採シ盡シテ仕舞ヒマシタ費用ノ如キハ、人民カラ如何ニシテ徵收スルカ、徵收シナイト云フノデゴザイマス、又其次ニ此期限内ニ於テ處分、即チ分收權ヲ得タ者、所有權ヲ得タ者ガ第三者ハ此土地ヲ賣タ場合ニハドウスルカ、何人ニ對シテ此土地ヲ取戻スカ、又土地ヲ取戻スコトガ出來ルトシタナラバ、何人ニ對シテ賠償ヲ求ムルコトガ出來ルカ、是等各項ニ就イテ何ッテ置キタウゴザイマス、其他今一箇條ゴザイマスケレドモ、餘リ長クナルカラ是ダケ先ツ何ッテ置キマス

(政府委員農商務省山林局長高橋琢也君演壇ニ登ル)

○政府委員(高橋琢也君) 草刈君、御質問ニ御答致シマスガ、此第三條ニ依リマシテ、一旦處分ヲ致シマシタ後ニ、即チ五年以内ニ錯誤ヲ發見致シマシテ指令ヲ取消シマスル場合ニ、其間ニ若シ此處分ニ依ッテ下戻ヲ得マシタ者デ、ソレガ樹木ヲ伐採シタメニ他ニ使用シタト云フヤウナ場合ガゴザイマシタナラバ、サウ云フ場合ニハ其代價ダケヲ追徵スル、斯ウ云フ積リデアリマス、ソレカラ又伐木跡ニ造林ヲシタ場合ナラバ、其費用ハ官カラ辨償ヲスル積リデアリマス、マダゴザイマシタカ

○草刈親明君(百四十四番) 第三者ニ賣ッタ場合ハ……

○政府委員(高橋琢也君) 第三者ニ賣ッタ場合ハ問ヒマセヌ積デアリマス、○工藤行幹君(百九十七番) 私ガ一寸質問シタイデアリマスガ、第一條ニ證據ヲ有スル者ト云フコトガアリマスガ、此證據ト云フ以上ハ、即チ紙ニ書イタ一ツノ證書ヲ單ニ指シテ言フデアリマス、或ハ此舊慣或ハ、此實際ノ是マデノ取扱デサウナッテ居ルトカ、若クハ舊制——舊藩廳デモ宜シイガ、其方ノ帳簿杯ニ存シテ居ルモノモ證據ニスルノデアリマス、ソレコトヲ承リタイ、ソレヲ承リタイノハ、畢竟私ノ案ズルコトヲ一ツ御話シイマスガ、分收權、所有權ト云フ山林ニ關スルモノハ、必ズ書イタ紙バカリガ證據デナイ、舊制以來之ヲ分收シテ居ルト云フ適例ガ幾ラモアルノデゴザイマス、サウ云フ適例ノアルノモ、紙ニ書イタ證據ガナケレバヤラヌト云フノデアリマス、或ハ藩々ノ分收權ガアッタト云フ成績ガアレバヤルト云フノデアアルカ、ソレヲ一應伺ヒタイ

○政府委員(高橋琢也君) 紙ニ書イタモノバカリガ證據ト致シマセヌ、併シ多クハ帳簿ナリ、證書ナリ其他賣買ヲ致シマシタトカ、其他植樹ヲ致シマシタ書附トカ、矢張紙ニ書イタモノガ多クハ證據トナリマス、併シ場合ニ依リマス、紙ニ書イテゴザイマセヌ、實地ノ形狀ニ依ッテソレヲ證據ニ採ル場合モアリマス、ソレハ實地ニ先祖ノ墳墓ガアルトカ云フ、斯ウ云フヤウナコトガ證據ニナル場合モアリマス

○草刈親明君(百四十四番) 先刻尋ネマシタ第三者ニ賣リマシタ場分ガ少シ

分リマセヌデシタガ、アレハドウナルノカ、賣ッタトカ、抵當ニシタトカ云フ場合ハドウナルノデス

○政府委員(高橋琢也君) 賣ッタトカ云フ場合ハ問ハナイ

○草刈親明君(百四十四番) 抵當ニ致シタ場合ハ

○政府委員(高橋琢也君) 抵當ニ致シタ場合ハ取レマセウ、流レテ仕舞ッタル場合ニハ仕方ガナイ

○草刈親明君(百四十四番) 法律ノ明文ハ拵ヘ方デ出來得ナイヤウニモ、出來得ルヤウニモ出來ルノデ、此法律ノ精神ハドウチニアルカト云フコトヲ聞クノデス

○政府委員(高橋琢也君) 法律ノ精神ハ外ニ讓渡シタ場合ナラバ問ハナイ

○草刈親明君(百四十四番) 抵當ノ場合ハ

○政府委員(高橋琢也君) 抵當ニシタ場合デ取り得ルナラバ取ル、取り得ルト云フノハマダ他ニ流レテ仕舞ハナイトキノコト

○草刈親明君(百四十四番) 抵當ノ流レルト云フコトハ法律ニハ見テ居ナイ

○政府委員(高橋琢也君) ソレハ誤リデシタ、詰リ云ハ、抵當流レト稱スルヤウナモノデ、或ハ質入ノヤウナ積リデアッタナラバ……

○草刈親明君(百四十四番) 分ラヌケレバ宜シイ、別ニ問フ、ソレカラ人民ガ所有權買戻シテ伐採シテシマッタ、其時ニハ代價ヲ追徵スル、法律臭イコトヲ申サウデアアルガ、善意ノ占有者ハ其人ガ果實ヲ收入スルコトガ出來ル、民法デハ即チ善意ニ所有シタナラバ、其所有ノモノト云フモノハ、其人ガ取レ

バ其人ノ得ニナル、然ルニ五年ノ間ノ期限デモ、此人ハ善意ヲ以テ所有シタ、ソレヲ善意ヲ以テ所有シタモノガ、善意ニ其木ヲ伐ツタ、ソレガ辨償ト云フッテ代價ヲ追徵スルハ、法律ノ原則ニ背イテハ居リマセヌカ

○政府委員(高橋琢也君) 法律ガ命ジタラ一向差支ナイ

○草刈親明君(百四十四番) 原則ニ、法律ノ原則ニ背イタコトガ出來マスガ、

○政府委員(高橋琢也君) ソレハアナタノ御考デアッテ、此案デハ善意ト惡意トヲ問ハヌノデス

○草刈親明君(百四十四番) 宜シイ、ソレナラバ今一ツ問フ、五箇年ノ間租

稅ヲ御取リニナルノデスカ

○政府委員(高橋琢也君) サウデス

○草刈親明君(百四十四番) 人民ガ自分ノ土地カラ拂フニ——租稅ヲ拂ッテ

收入ガ出來ナイト云フコトガアリマスカ

○政府委員(高橋琢也君) 法律ガ命ジタラ差支ナイト思フ

○草刈親明君(百四十四番) 其時ニ五年ノ後ニ誤謬ヲ發見シテ取返シタイト

キニ、五年ナリ二年ナリノ先キノ租稅ハドウスルノデスカ

○政府委員(高橋琢也君) ソレハ返シテヤリマス

○草刈親明君(百四十四番) アナタノ答辯ハ随分分ラヌノデス

○政府委員(高橋琢也君) サウデスカ、御議論ナラ別ニ御述ニナルガ宜シウ



ゴザイマス  
○田中鳥雄君(二百九番) 第一條ニ就イテ、少シ議案外ノヤウデアリマスガ、私ノ御問申シマスルノハ、此法案御提出ニナルニ就イテハ、御料局ノ方ハ御打合セニナリマシタカ、ナゼト申スニ、是マデ證據ノアルモノハ、確認ノアルモノハ、下ゲタガ、儲テ斯ウ云フ法律ガ出テ、三十一年十二月迄ニ尙ホ證據ノアルモノハ、其筋デ取上ゲテ下戻スコトニナル、現今御料局ノ分ニナツテ居ル分ハ、隨分斯ウ云フ種類ガアルト思ヒマス、一方ニ官有地ダケノモノハ、此法律デ人民ニ下戻スコトニナル、サウシテ御料局ノモノハ、サウ云フ詮議ニナラヌト云フコトニナルト、大變不公平ニナラウト思ヒマスカラ、其邊ハ御打合セニナリマシタカ

○政府委員(高橋琢也君) 御料局ニ打合セマシタガ、御料局デハ此法律カラ除イテ吳レイト云フコトデアリマス

○田中鳥雄君(二百九番) サウスルト、國有ハ斯ウ云フコトハ出來ルガ、御料地ハサウ云フコトハイカヌト云フノデスカ

○政府委員(高橋琢也君) サウデハゴザイマセヌ、結果ハ出來得ルダラウト思ヒマス、此法律ガ通過致シタ曉ハ、此法律ニ依リマス分ハ所謂國有林、ソレカラ國有ノ土地ト云フヤウナモノニナルハ、此法律ノ結果トシテ二箇年デ出願ノ效ヲ失フガ、之ヲ下戻シテシモウ權力ハ、御料局ノ方ハ何時マデモ繼續シテ、舊來ノ方法デ往ケルト云フコトニナリマス

○恆松隆慶君(二百七十二番) 本員ハ最早質問ハ止メマシテ、若シアリトスレバ委員會ニ回シテ、而シテ本案ハ森林法案ノ委員ニ付託ニナランコトヲ希望致シマス

○議長(鳩山和夫君) 日程ノ十五ニ移ルコトハ、マダ宣告シマセヌ——日程ノ十五ニ移リマス——吉本榮吉君

第十五 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉  
○吉本榮吉君(二百七十六番) 前ノ森林法案ノ委員ニ付託スルト云フ動議ヲ提出致シマス

〔贊成ヤ々〕ノ聲起ル  
○議長(鳩山和夫君) 然ラバ森林法案ノ委員ニ付託スベント云フ動議ガアリマスガ

〔異議ナシ〕ノ聲起ル  
○議長(鳩山和夫君) 然ラバ其通決定致シマス——第十六カラ十九マデ、通シテ議題ト爲シマスル

第十六 豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ第一讀會  
件ニ關スル法律案(政府提出)

第十七 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第十八 豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ第一讀會  
件ニ關スル法律案(政府提出)

第十九 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉  
〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス〕

明治二十五年法律第四號鐵道敷設法豫定鐵道線路中左ノ線路ハ私設鐵道會社ニ其ノ敷設ヲ許可スルコトヲ得

一兵庫縣下姫路ヨリ鳥取縣下鳥取ヲ經テ境ニ至ル鐵道

明治二十五年法律第四號鐵道敷設法豫定鐵道線路中左ノ線路ハ私設鐵道會社ニ其ノ敷設ヲ許可スルコトヲ得

一廣島縣下海田市ヨリ吳ニ至ル鐵道

○議長(鳩山和夫君) 是ハ鐵道敷設法中改正法律案ノ委員ニ付託シテハ如何デス

〔異議ナシ〕ノ聲起ル  
○議長(鳩山和夫君) ソレデハ、十六十八ノ議案ハ、鐵道敷設法中改正法律案ノ委員ニ付託スルコトニ決定致シマス、次會ノ議事日程ハ書面ヲ以テ報告致シマス——散會致シマス

午後四時十七分散會

衆議院議事速記録第十一號正誤

頁	段	行	誤	頁	段	行	誤	頁	段	行	正
一一二	下	一五	百十九頁	一一四	下	六	カラ	一一二	下	二五	四千百貳拾六圓貳錢

